

豊田地域医療センター病院年報

平成30年度

< 目次 >

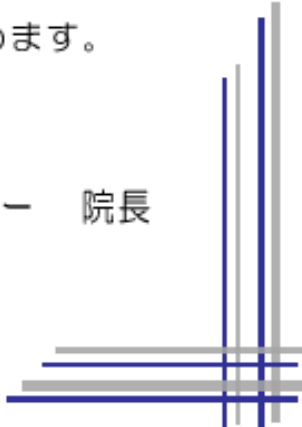
1	病院理念と基本方針	1
2	発刊にあたり	2
3	病院機能	
3.1	施設概要	3
3.2	各種指定・学会認定等	4
3.2.1	各種指定	
3.2.2	学会認定	
3.2.3	病院機能評価	
3.2.4	人間ドック健診施設機能評価	
3.3	施設基準	5
3.4	組織図	6
3.5	医療機器	7
3.5.1	主な医療機器	
3.5.2	主な医療システム	
4	業務状況	
4.1	診療実績	
4.1.1	科別患者数	8
4.1.2	地域別患者数	10
4.1.3	年齢構成別患者数	11
4.2	健診実績	
4.2.1	総合健診（人間ドック）受診者数	12
4.2.2	総合健診（人間ドック）地域別受診者数	13
4.2.3	他の健診受診者数	13
4.2.4	集団検診受診者数	14
4.2.5	学校健診	14
4.3	地域医療連携実績	
4.3.1	紹介患者実績	15
4.3.2	医療相談実績	15
4.4	在宅実績	
4.4.1	地域包括支援実績	16
4.4.2	居宅介護支援実績	16
4.4.3	訪問看護実績	16
4.4.4	訪問診療実績	17
4.5	部門実績	
4.5.1	医療安全管理部門	18
4.5.2	感染管理部門	19
4.5.3	診療部門	21
4.5.4	薬剤部門	22
4.5.5	診療放射線部門	23

4.5.6	臨床検査部門	23
4.5.7	手術部門	24
4.5.8	リハビリテーション部門	25
4.5.9	栄養管理部門	26
5	委員会状況	
5.1	委員会一覧	27
5.2	主な委員会の活動報告	
5.2.1	医療安全管理委員会	28
5.2.2	院内感染対策委員会・ICT委員会	30
5.2.3	健診運営委員会	31
5.2.4	サービス向上委員会	32
5.2.5	診療報酬委員会	34
5.2.6	内視鏡室運営委員会	35
5.2.7	栄養管理委員会	37
5.2.8	NST委員会	42
5.2.9	褥瘡防止対策委員会	43
5.2.10	薬事材料委員会	45
5.2.11	臨床検査適正化・輸血療法委員会	46
5.2.12	入退院判定会	47
5.2.13	災害対策委員会	49
5.2.14	広報委員会	51
5.2.15	衛生委員会	52
5.2.16	IT委員会	54
6	講演、学会、研修会等の発表	55
7	研修状況	
7.1	研修会	57
8	実習状況	
8.1	学生実習	58
8.2	職場体験学習	59
9	豊田市・藤田医科大学連携寄附講座	
9.1	連携地域医療学寄附講座	60
9.2	ロボット技術を活用した地域リハビリテーション医学 の展開に関する寄附講座	62

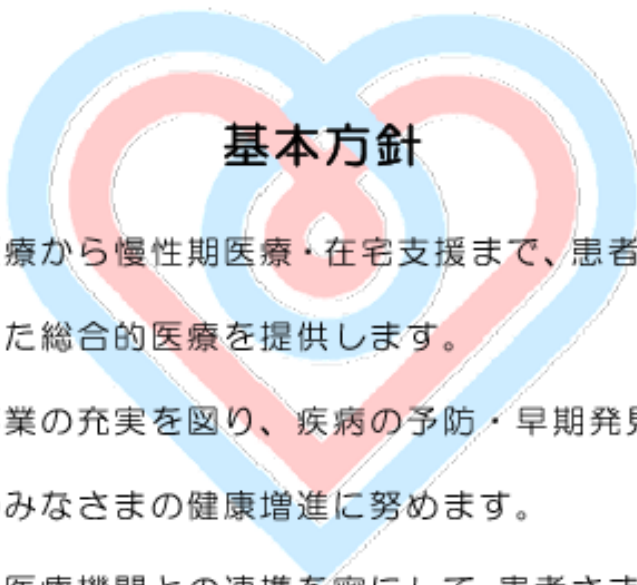


病院理念

私たちは、医療・保健・福祉を通して、
地域のみなさまの生命を守り、
健康で生きがいのある生活を支援します。



基本方針

- 
- 1 救急医療から慢性期医療・在宅支援まで、患者さまの立場にたった総合的医療を提供します。
 - 2 健診事業の充実を図り、疾病の予防・早期発見を通して、地域のみなさまの健康増進に努めます。
 - 3 地域の医療機関との連携を密にして、患者さまに適切な医療サービスを提供します。
 - 4 良質な医療を提供するために、働きがいのある職場環境を整え、医療技術と知識及びモラルの向上に努めます。

豊田地域医療センター 院長

2 発刊にあたり

平成 30 年度病院年報
豊田地域医療センター

院長 井野晶夫

平成 30 年度の病院年報を発刊するにあたりご挨拶申し上げるとともに、1 年間を振り返りたいと思います。

昨年度 2 月から病院総合情報システム（電子カルテ）の全面更新を行い、診療面でも診療システムと健診システムを統合した汎用画像管理システムなど利便性が大きく改善されました。4 月には大規模な診療報酬改定があり、その意図に基づいて算定要件を満たすための課題を解決し、経営的な強化を実施しました。また同月、藤田医科大学にロボット技術活用地域リハビリ医学寄附講座が設置され、9 月から豊田地域医療センターでの診療が開始され、10 月にはリハビリテーションロボット・ウェルウォークも設置されました。最新の科学的評価に基づいた専門的リハビリテーションの実施だけでなく、総合診療科とも連携したリハビリテーションサービスが地域の中で広く利用できるようなシステムの展開を期待しています。平成 27 年から診療を開始した総合診療科は在宅だけでなく病棟や外来でも総合診療科を中心とした診療体制が取れるようになりました。総合診療科での家庭医療・総合診療専門医プログラムは、日本専門医機構認定の総合診療専門医プログラムに移行し、今年度は 5 名が 3 年間のプログラムを修了し、また新たに 11 名の専攻医を向かえることができ、日本で最もアクティビティーの高いプログラムと言えるかと思います。8 月 8 日には新病院建設の起工式を行い、建設工事が開始されました。来院の皆様には騒音や駐車場などでご迷惑をおかけしますが、令和 3 年 1 月予定の新病院竣工を期待して見守って頂ければと思います。12 月には日本医療機能評価機構の訪問審査（一般病院 1）を受審しました。受審に向けて医療・業務の安全・質・効率を向上させるために課題の評価・改善を進めました。今後も継続して質の高い患者中心の医療、職場環境の改善を目指していきます。

豊田市在宅医療・福祉連携推進会議においては、豊田市・藤田医科大学連携地域医療学寄附講座、訪問看護師人材育成センター、在宅医療スキルアップ研修、機能強化型在宅療養支援診療所・支援病院（連携型）の連携支援、オンライン診療のモデル実証、在宅療養に係わるロボット等先端技術の活用の実証、豊田地域医療センターの再整備（新棟建設および西棟、南棟の活用）のテーマについて検討を進めました。

事業収益の主なものは、一般・専門・救急外来では 576,185 千円（予算 580,655 千円）、訪問診療で 333,193 千円（361,855 千円）、入院で 1,562,244 千円（1,535,542 千円）、保健予防活動で 1,253,492 千円（1,239,199 千円）となり、入院、保健予防活動で予算を達成できました。昨年度末より地域包括病棟 51 床への増床に加え、地域医療連携の強化、病床利用の円滑化により入院診療収益を 13% 伸ばすことができました。

今後も診療・サービスの更なる向上のほか人材育成や病院経営の健全化に向けて取り組んでいきたいと考えます。地域の住民に身近に感じていただき、安心して健診や診療が受けられる病院を目指してまいります。

3. 病院機能

3.1 施設概要

平成 30 年 4 月 1 日現在

所在地

〒471-0062

愛知県豊田市西山町 3 丁目 30 番地 1

連絡先

0565-34-3000（代表）

ホームページアドレス

<http://www.toyotachiiki-mc.or.jp>

敷地面積

31,028.86 m²

診療科（標榜科）

内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、神経内科、外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、泌尿器科、放射線科、歯科

病床数

一般病床	29 床
地域包括ケア病床	51 床
回復期リハビリテーション病床	30 床
療養病床	40 床

施設規模

施 設	構 造	延床面積
病院本体	鉄筋コンクリート造	17,775.86 m ²
	地下 1 階地上 4 階建	
M R I 棟	鉄筋コンクリート造	119.36 m ²
	平屋建	
豊田地域看護専門学校	鉄筋コンクリート造	3,029.73 m ²
	3 階建	

職員数

事務局		病院部門																教育部門			合 計	
	事務員		医師	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	管理栄養士	保健師	看護師	准看護師	社会福祉士	介護福祉士	介護支援専門員	事務員	技能員		看護師		事務員
2	2	262	22	7	16	17	18	13	5	3	8	102	0	4	8	4	33	2	14	13	1	278

3.2 各種指定・学会認定等

平成 30 年 4 月 1 日現在

3.2.1 各種指定

社会保険等指定	保険医療機関
	結核指定医療機関
	労災保険指定医療機関
	労災保険二次健康診断等給付医療機関
	生活保護法指医療定機関
	被爆者一般疾病医療機関
	指定自立支援医療機関（精神通院医療）
	B 型・C 型肝炎患者医療給付事業指定医療機関
	難病医療協力病院
	救急告示医療機関
各種指定	藤田保健衛生大学病院臨床研修協力医療機関
	豊田地域看護専門学校実習指定病院
	国土交通省短期入院協力指定病院（交通事故後の重症後遺症）

3.2.2 学会認定

日本消化器病学会専門医制度認定施設
日本外科学会外科専門医制度関連施設
日本脳ドック学会認定施設
日本老年医学会認定施設
日本静脈経腸栄養学会 N S T 稼動施設

3.2.3 病院機能評価

認定機関	公益財団法人 日本医療機能評価機構
バージョン	3 r d G : V e r 1 . 0
種別・区分	一般病院（100 床以上）（主たる機能）
認定日	2013-11-01
認定番号	JC1558-2
認定有効期限	2018-09-28

3.2.4 人間ドック健診施設機能評価

認定機関	公益財団法人 日本人間ドック学会
バージョン	2.0
認定日	2013-04-20
認定番号	306
認定有効期限	2023-03-31

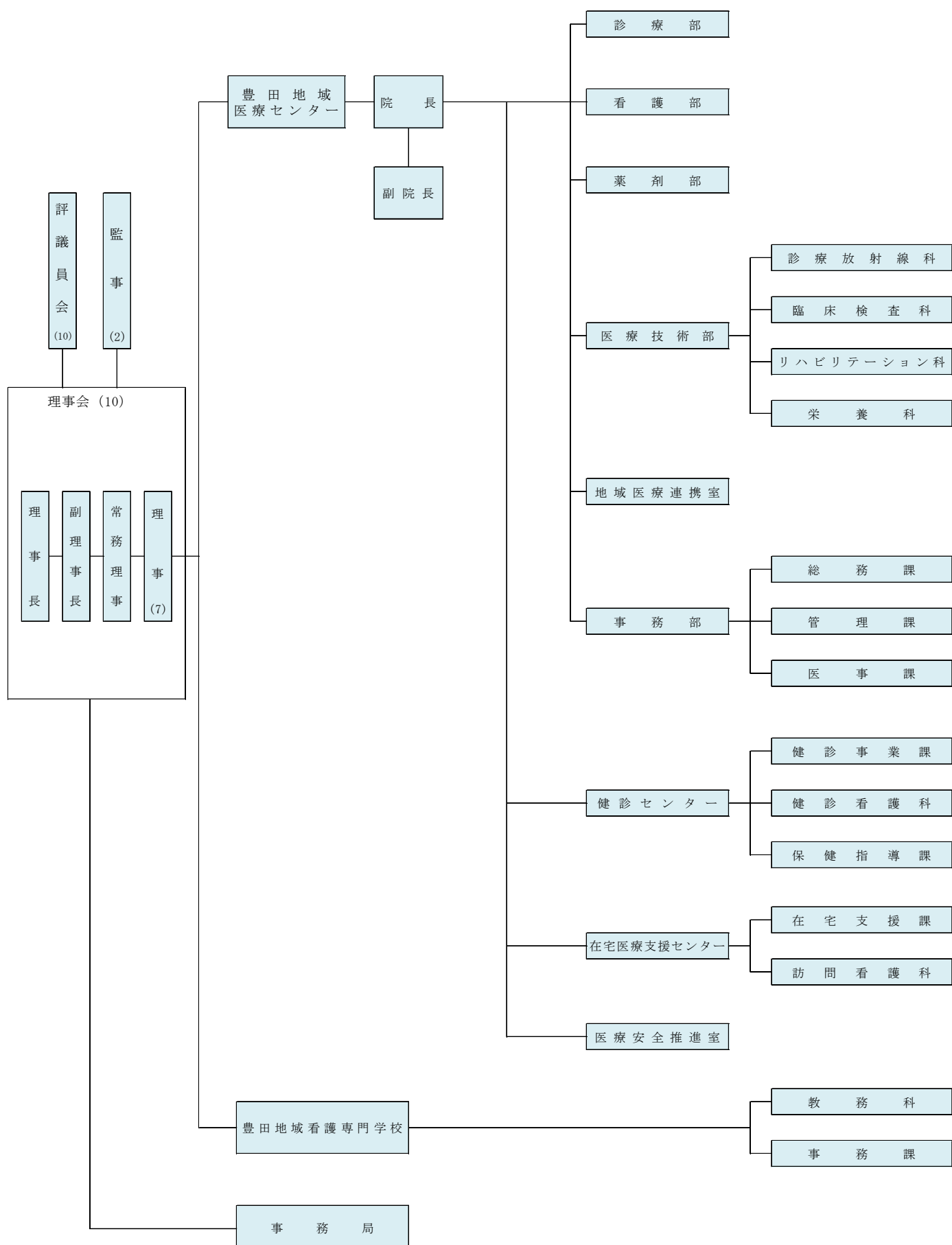
3.3 施設基準

平成 30 年 4 月 1 日現在

届出名称	受理番号	算定開始年月日
機能強化加算	(機能強化) 第359号	平成30年 4月 1日
一般病棟入院基本料	(一般入院) 第3075号	平成30年 4月 1日
療養病棟入院基本料	(療養入院) 第6871号	平成30年 4月 1日
診療録管理体制加算 1	(診療録1) 第13号	平成26年 4月 1日
急性期看護補助体制加算	(急性看護) 第644号	平成30年 7月 1日
療養環境加算	(療) 第179号	平成20年 8月 1日
療養病棟療養環境加算 1	(療養 1) 第137号	平成25年 4月 1日
医療安全対策加算 1	(医療安全1) 第303号	平成30年 4月 1日
感染防止対策加算 2	(感染防止2) 第157号	平成29年10月 1日
総合評価加算	(総合評価) 第30号	平成23年 8月 1日
後発医薬品使用体制加算 3	(後発使3) 第12号	平成30年 4月 1日
データ提出加算	(データ提) 第216号	平成30年 9月 1日
入退院支援加算	(入退支) 第244号	平成28年 7月 1日
認知症ケア加算	(認ケア) 第76号	平成29年 1月 1日
回復期リハビリテーション病棟入院料 1	(回1) 第28号	平成30年 9月 1日
地域包括ケア入院医療管理料 1	(地包ケア1) 第2号	平成30年 4月 1日
入院時食事療養 (I) ・入院時生活療養 (I)	(食) 第316号	平成 3年 3月30日
がん性疼痛緩和指導管理料	(がん疼) 第65号	平成22年 4月 1日
救急搬送看護体制加算	(救搬看護) 第42号	平成30年 7月 1日
ニコチン依存症管理料	(ニコ) 第2079号	平成29年 7月 1日
がん治療連携指導料	(がん指) 第904号	平成25年 7月 1日
薬剤管理指導料	(薬) 第414号	平成22年 4月 1日
医療機器安全管理料 1	(機安1) 第59号	平成20年 4月 1日
別添1の「第14の2」の1の(1)に規定する在宅療養支援病院	(支援病1) 第18号	平成27年 8月 1日
在宅緩和ケア充実診療所・病院加算	(在緩和病) 第1号	平成28年 4月 1日
在宅時医学総合管理料又は特定施設入居時等医学総合管理料	(在医総管) 第1535号	平成27年 4月 1日
在宅がん医療総合診療料	(在総) 第1773号	平成27年 6月 1日
検体検査管理加算 (I)	(検I) 第276号	平成20年 4月 1日
検体検査管理加算 (II)	(検II) 第44号	平成20年 4月 1日
画像診断管理加算 2	(画2) 第69号	平成20年 4月 1日
C T撮影及びMR I撮影	(C・M) 第1097号	平成28年 4月 1日
冠動脈C T撮影加算	(冠動C) 第26号	平成21年 1月 1日
心臓MR I撮影加算	(心臓M) 第13号	平成20年 4月 1日
無菌製剤処理料	(菌) 第197号	平成21年12月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	(脳I) 第99号	平成24年 4月 1日
運動器リハビリテーション料 (I)	(運I) 第47号	平成24年 4月 1日
呼吸器リハビリテーション料 (I)	(呼I) 第70号	平成24年 4月 1日
胃瘻造設術	(胃瘻造) 第26号	平成26年 4月 1日
輸血管理料 II	(輸血II) 第23号	平成19年 3月 1日
輸血適正使用加算	(輸適) 第94号	平成29年 4月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	(胃瘻造嚥) 第24号	平成26年 4月 1日
酸素単価	(酸素単) 第24265号	平成30年 4月 1日

3. 4 組織図

平成 30 年 4 月 1 日現在



3.5 医療機器

平成 31 年 3 月 31 日現在

3.5.1 主な医療機器

部門	備品名	台数
画像診断	一般撮影装置	4
	X線テレビ装置	6
	乳房軟線撮影装置	2
	パノラマ撮影装置	1
	C T (6 4 列)	1
	M R I (1 . 5 テスラ)	1
	骨塩定量測定装置	1
内視鏡検査	上部消化管ファイバースコープ	5
	下部消化管ファイバースコープ	3
検体検査	検査分析装置	7
生理検査	腹部超音波診断装置	7
	心臓超音波診断装置	1
	乳腺・その他超音波診断装置	2
認知機能検査	A D A S (D T - N a v i)	2

3.5.2 主な医療システム

備品名	メーカー	システム名
電子カルテシステム	富士通	HOPE-LifeMark-MX
健診システム	日立製作所	ヘルゼアネクスト
P A C S	Canon Medical Systems	RapideyeCore

4. 業務状況

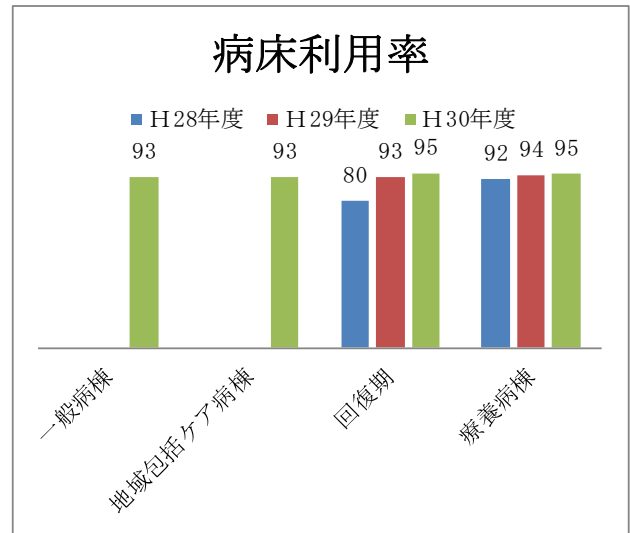
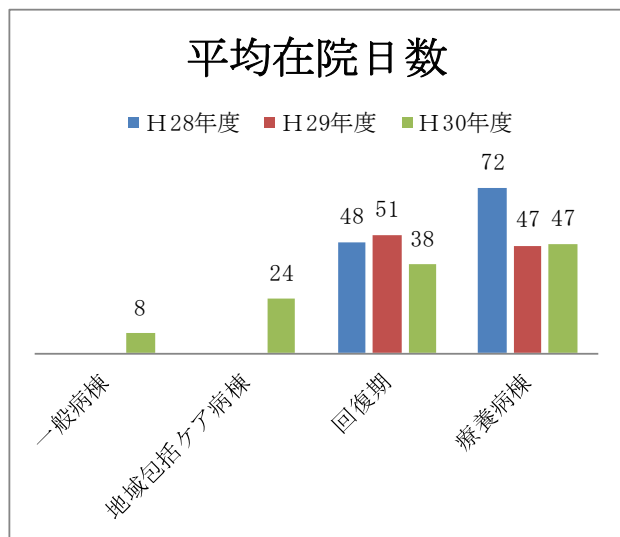
4.1 診療実績

4.1.1 科別患者数

月 区 分			合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
								前年度
外 来	救急外来	内 科	11,941	32.7	11,680	102.2	365日	365日
		小 児 科	3,061	8.4	3,430	89.2		
		外 科	4,280	11.7	4,369	98.0		
		歯 科	447	5.9	410	109.0	76日	76日
		小 計	19,729		19,889	99.2		
	専門外来	総 合 診 療 科	14,233	48.7	11,196	127.1	292日	293日
		消 化 器 内 科	3,561	12.2	6,212	57.3		
		循 環 器 内 科	2,068	7.1	2,227	92.9		
		呼 吸 器 内 科	1,777	6.1	1,919	92.6		
		神 経 内 科	1,232	4.2	1,388	88.8		
		外 科	5,369	18.4	5,644	95.1		
		整 形 外 科	3,450	11.8	4,198	82.2		
		脳 神 経 外 科	867	3.0	1,228	70.6		
		放 射 線 科	1,066	3.7	1,071	99.5		
		泌 尿 器 科	258	0.9	252	102.4		
		リハビリテーション科	203	0.7	0	-		
		小 計	34,084	116.7	35,335	96.5		
	合 計		53,813		55,224	97.4		

月 区 分		合 計	1 日平均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
							前年度
在宅	訪 問 診 療	9,905	27.1	7,053	140.4	365日	365日

区 分		合 計	1 日 平 均	前年度	前年度比 %	平均在院日数		病床利用率	
							前年度		前年度
入 院	一 般 病 棟	9,888	27.1	—	—	8.3日	—	93.4%	—
	地域包括ケア病棟	17,329	47.5	—	—	23.6日	—	93.1%	—
	回復期リハビリテー ション病棟	10,419	28.5	10,213	102.0	38.1日	51.2日	95.2%	93.3%
	療 養 病 棟	13,891	38.1	13,776	100.8	47.1日	46.7日	95.1%	94.4%
	合 計	51,527	141.2	—	—	29.2日	—	94.1%	—



< 定義 >

$$\frac{\text{平均在院日数} \times \text{年間在院患者のべ数}}{(\text{年間新入院患者数} + \text{年間退院患者数}) \div 1/2}$$

※除外患者を除かない全患者数

$$\frac{\text{病床利用率} \times \text{年間在院患者のべ数}}{\text{病床数} \times 365 \text{日}} \times 100\%$$

※地域包括ケア病棟は、H30年3月から一般病棟の地域包括ケア病床（17床）から59床に転換

※一般病棟は、H30年3月から地域包括ケア病床を含む80床から21床に転換

※平成28年度と平成29年度の一般病棟と地域包括ケア病棟の表及びグラフは条件が異なるため数値を除いた。

区 分		合 計
障がい福祉	医療型短期入所	13
	日中活動系	0

区 分		合 計	1 日 平 均	前年度	前年度比 %	診 療 日 数	
							前年度
入院口腔ケア（歯科）		93	8.5	69	134.8	11日	11日

4.1.2 地域別患者数

地域 区 分			豊 田 市								みよし 市	その他	合 計
			旧市内	藤 岡 地 区	小 原 地 区	下 山 地 区	旭 地 区	足 助 地 区	稲 武 地 区	小 計			
外 来	救 急 外 来	内 科	9,640	665	95	44	30	114	6	10,594	633	714	11,941
		小 児 科	2,507	157	21	12	8	27	3	2,735	182	144	3,061
		外 科	3,380	315	47	13	18	45	3	3,821	217	242	4,280
		歯 科	343	19	1	4	2	8	1	378	31	38	447
		小 計	15,870	1,156	164	73	58	194	13	17,528	1,063	1,138	19,729
	専 門 外 来	総 合 診 療 科	11,272	987	138	26	59	193	15	12,690	559	984	14,233
		消 化 器 内 科	2,683	211	82	22	20	65	9	3,092	177	292	3,561
		循 環 器 内 科	1,749	100	34	12	7	21	2	1,925	74	69	2,068
		呼 吸 器 内 科	1,359	73	60	11	8	55	4	1,570	101	106	1,777
		神 経 内 科	1,128	53	5	0	0	28	0	1,214	10	8	1,232
		外 科	4,219	374	89	27	39	81	11	4,840	183	346	5,369
		整 形 外 科	2,622	227	107	3	13	10	1	2,983	218	249	3,450
		脳 神 経 外 科	686	69	12	0	2	9	1	779	58	30	867
		放 射 線 科	819	65	9	4	2	12	0	911	104	51	1,066
		泌 尿 器 科	209	27	5	3	0	6	0	250	1	7	258
		リハビリテー シ ョ ン 科	177	6	2	0	0	1	0	186	3	14	203
		小 計	26,923	2,192	543	108	150	481	43	30,440	1,488	2,156	34,084
		合 計	42,793	3,348	707	181	208	675	56	47,968	2,551	3,294	53,813
		構 成 比 %	79.5	6.2	1.3	0.3	0.4	1.3	0.1	89.1	4.7	6.1	99.9
		前 年 度	44,209	3,287	806	282	247	702	81	49,614	2,585	3,025	55,224
		前 年 度 比 %	96.8	101.9	87.7	64.2	84.2	96.2	69.1	96.7	98.7	108.9	97.4

在 宅	訪 問 診 療	8,958	284	40	0	0	0	0	9,282	122	501	9,905
	構 成 比 %	90.4	2.9	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	93.7	1.2	5.1	100.0
	前 年 度	6,233	363	17	17	0	0	0	6,630	114	309	7,053
	前 年 度 比 %	143.7	78.2	235.3	0.0	-	-	-	140.0	107.0	162.1	140.4

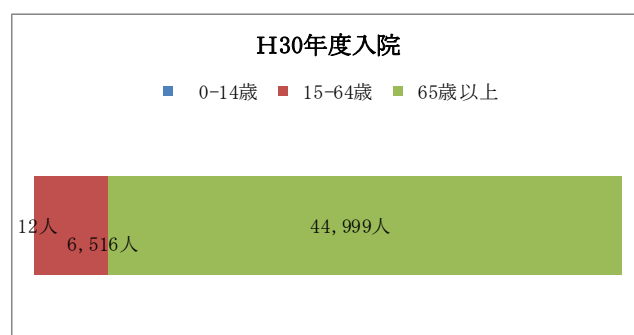
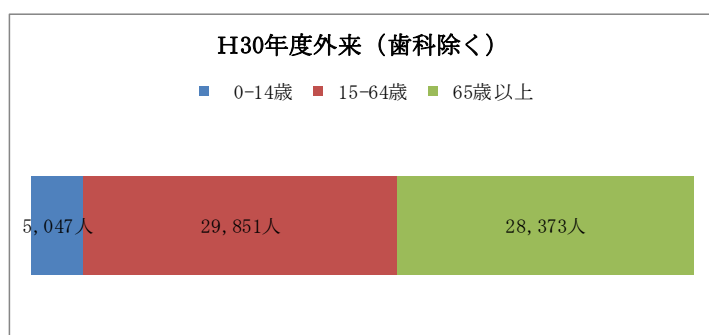
入 院	一 般 病 棟	8,499	592	107	43	118	41	0	9,400	206	282	9,888
	地 域 包 括 ケ ア 病 棟	15,162	758	440	153	118	65	0	16,696	360	273	17,329
	回 復 期 リハビリテーション病棟	8,403	727	113	29	32	1	0	9,305	495	619	10,419
	療 養 病 棟	11,780	648	312	48	0	186	0	12,974	770	147	13,891
	合 計	43,844	2,725	972	273	268	293	0	48,375	1,831	1,321	51,527
	構 成 比 %	85.1	5.3	1.9	0.5	0.5	0.6	0.0	93.9	3.6	2.6	100.1
	前 年 度	42,964	3,230	1,151	50	152	266	27	47,840	1,164	1,766	50,770
	前 年 度 比 %	102.0	84.4	84.4	546.0	176.3	110.2	0.0	101.1	157.3	74.8	101.5

障 が い 福 祉	短 期 入 所	13	0	0	0	0	0	0	13	0	0	13
	構 成 比 %	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0

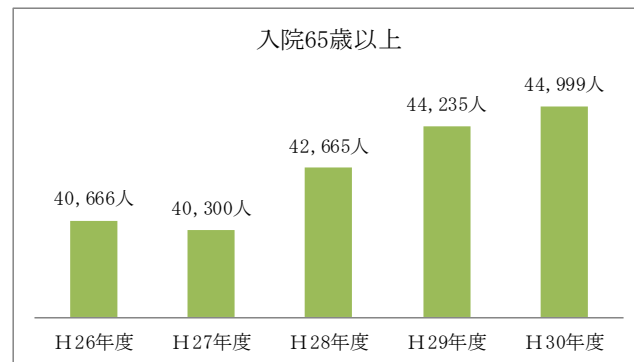
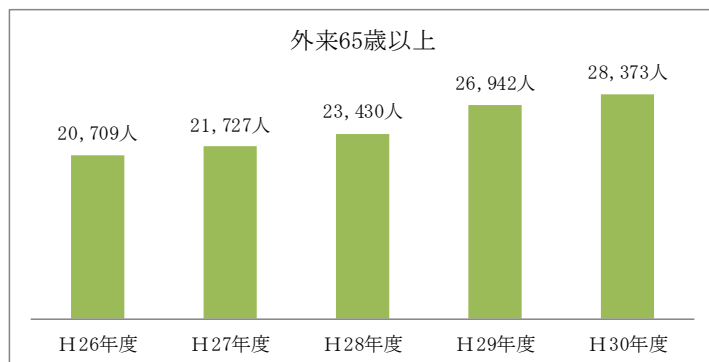
4.1.3 年齢構成別患者数

< 年齢構成別患者数 >

延べ数（人）		H30年度	H29年度	前年度比
外来 （歯科除き、訪問 診療を含む）	0-14歳	5,047人	5,458人	92.5%
	15-64歳	29,851人	29,467人	101.3%
	65歳以上	28,373人	26,942人	105.3%
入院	0-14歳	12人	0人	0.0%
	15-64歳	6,516人	6,535人	99.7%
	65歳以上	44,999人	44,235人	101.7%



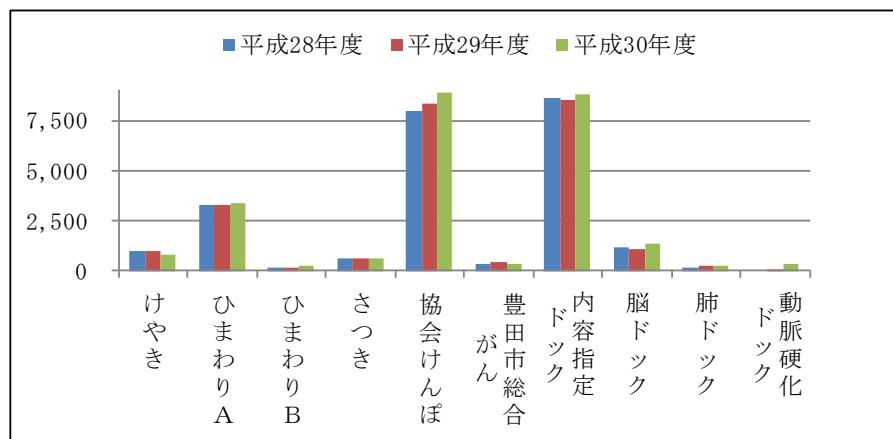
< 65歳以上の推移 >



4.2 健診実績

4.2.1 総合健診（人間ドック）受診者数

区分		平成30年度	平成29年度	前年度比
コース別	けやき	842人	1,009人	83.4%
	ひまわりA	3,354人	3,253人	103.1%
	ひまわりB	229人	192人	119.3%
	さつき	676人	632人	107.0%
	協会けんぽ	8,910人	8,359人	106.6%
	豊田市総合がん	376人	407人	92.4%
	内容指定ドック	8,764人	8,529人	102.8%
	脳ドック	1,330人	1,123人	118.4%
	肺ドック	259人	293人	88.4%
	動脈硬化ドック	381人	116人	328.4%
年代別	29歳以下	887人	796人	111.4%
	30歳代	4,395人	4,276人	102.8%
	40歳代	7,705人	7,493人	102.8%
	50歳代	7,384人	7,025人	105.1%
	60歳代	3,926人	3,656人	107.4%
	70歳以上	824人	667人	123.5%
合計	受診者数	25,121人	23,913人	105.1%
	健診日数	290日	293日	99.0%
	1日当り受診者数	86.6人	81.6人	106.1%



検査別精密検査率	
内科診察	0.3%
眼圧	0.3%
眼底	0.8%
肺機能	0.9%
血圧	1.6%
心電図	2.4%
負荷心電図	2.4%
胸部X線	0.2%
胃部X線	3.6%
その他の消化管	6.9%
脂質代謝	0.2%
肝機能	5.5%
膵機能	0.2%
尿酸	1.1%
血清	1.2%
糖代謝	1.2%
血液一般	2.4%
腎機能	0.9%
電解質	0.1%
尿一般	1.5%
便潜血	4.3%
腹部超音波	0.6%
前立腺	2.5%
子宮頸がん	0.5%
婦人科	1.8%
乳がん	2.4%
骨密度	0.5%
総合判定	21.2%

4.2.2 総合健診（人間ドック）地域別受診者数

地域	豊田市								みよし市	その他	合計
	旧市内	藤岡地区	小原地区	下山地区	旭地区	足助地区	稲武地区	小計			
当年度	16,013人	1,320人	281人	260人	166人	492人	116人	18,648人	1,409人	5,064人	25,121人
構成比	63.7%	5.3%	1.1%	1.0%	0.7%	2.0%	0.5%	74.2%	5.6%	20.2%	100.0%
前年度	15,134人	1,243人	274人	246人	182人	491人	125人	17,695人	1,323人	4,895人	23,913人
前年度比	105.8%	106.2%	102.6%	105.7%	91.2%	100.2%	92.8%	105.4%	106.5%	103.5%	105.1%

4.2.3 他の健診受診者数

< 特定健診関係 >

健診の種類		平成30年度	平成29年度	前年度比
豊田市健康診査	特定健診	5,045人	5,191人	97.2%
	後期高齢者健診	2,086人	1,938人	107.6%
社会保険等特定健診		691人	699人	98.9%
生き生き健診		63人	85人	74.1%
合計		7,885人	7,913人	99.6%

< 保健指導関係 >

区分			平成30年度	平成29年度	前年度比%
特定保健指導	積極的支援	初回面接	139人	31人	448.4%
		実績評価	91人	30人	303.3%
	動機付け支援	初回面接	140人	39人	359.0%
		実績評価	92人	18人	511.1%
一般保健指導			425人	376人	113.0%
合計			887人	494人	179.6%

< 豊田市がん検診・肝炎検診 >

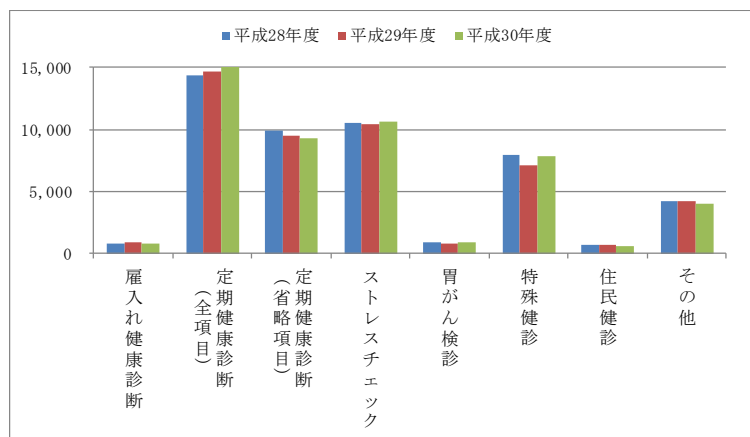
区分	平成30年度	平成29年度	前年度比%
胃がん検診	5,699人	5,645人	101.0%
大腸がん検診	7,463人	7,458人	100.1%
肺がん検診	5,972人	6,043人	98.8%
子宮がん検診	1,942人	1,929人	100.7%
乳がん検診	2,611人	2,549人	102.4%
前立腺がん検診	1,536人	1,649人	93.1%
肝炎検診	505人	597人	84.6%
合計	25,728人	25,870人	99.5%

< その他の健診 >

健診の種類	平成30年度	平成29年度	前年度比%
高齢者健診	71人	170人	41.8%
レディース検診	114人	135人	84.4%
骨粗しょう症健診	205人	195人	105.1%
簡易健診	928人	822人	112.9%
合計	1,318人	1,322人	99.7%

4.2.4 集団検診受診者数

区分		平成30年度	平成29年度	前年度比
事業所健診	雇入れ健康診断	779人	860人	90.6%
	定期健康診断（全項目）	15,324人	14,708人	104.2%
	定期健康診断（省略項目）	9,336人	9,519人	98.1%
	ストレスチェック	10,629人	10,405人	102.2%
	胃がん検診	887人	831人	106.7%
	特殊健診	7,844人	7,146人	109.8%
住民健診		578人	643人	89.9%
その他		3,982人	4,212人	94.5%
合計		49,359人	48,324人	102.1%

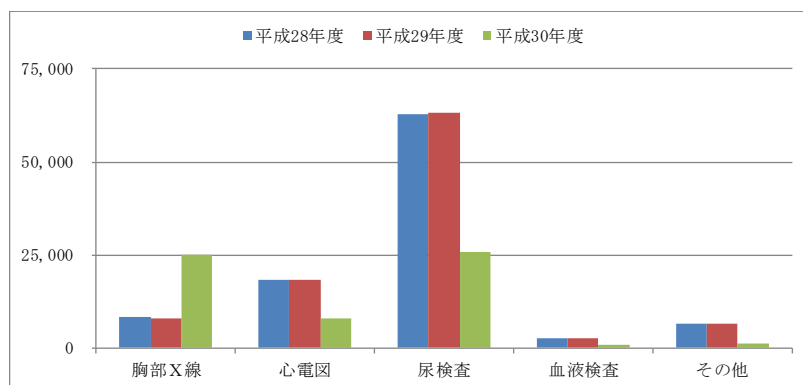


注）その他について

便潜血検査や血液検査などの検体検査や
胸部X線など単独検査の合計

4.2.5 学校健診

区分	平成30年度	平成29年度	前年度比
胸部X線	8,126人	8,125人	100.0%
心電図	17,771人	18,199人	97.6%
尿検査	62,632人	63,205人	99.1%
血液検査	2,783人	2,532人	109.9%
その他	6,973人	6,526人	106.8%
合計	98,285人	98,587人	99.7%



注）その他について

内科診察や腹囲、聴力、血圧測定
などの合計

4.3 地域医療連携実績

4.3.1 紹介患者実績

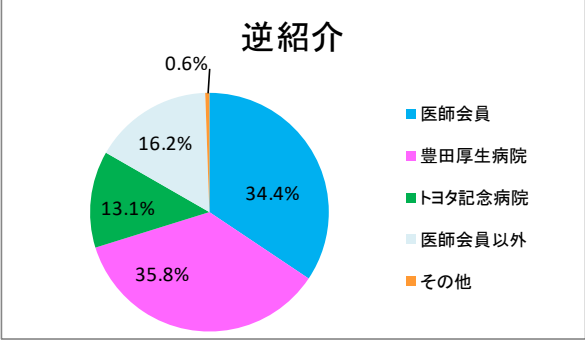
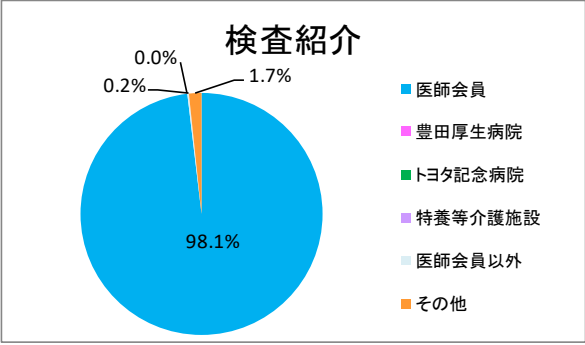
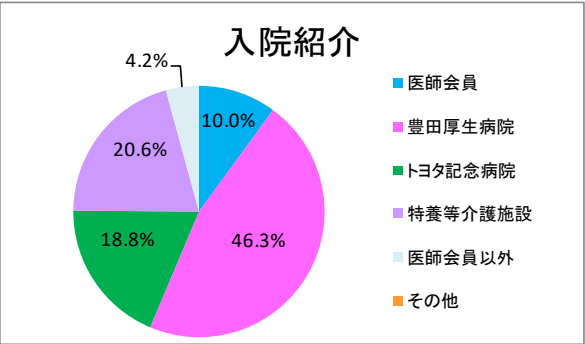
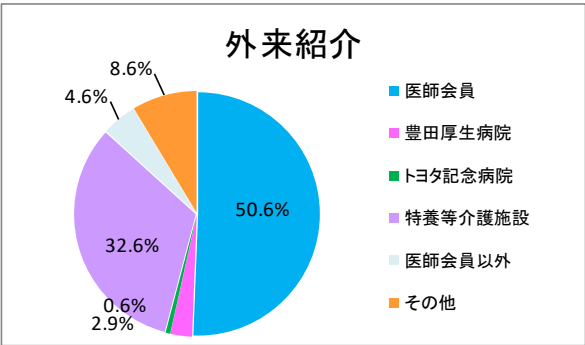
年度			H30年度	H29年度	前年度比
区分					
外 来 紹 介 患 者 数			972人	1,081人	89.9%
入院紹介患者数	一 般 病 棟		670人	676人	99.1%
	回 復 期 病 棟		221人	185人	119.5%
	療 養 病 棟		5人	5人	100.0%
	小 計		896人	866人	103.5%
検査紹介患者数	M R I	頭 部	203人	252人	80.6%
		軀 幹	599人	569人	105.3%
		四 肢	135人	119人	113.4%
	C T	頭 部	69人	66人	104.5%
		軀 幹	661人	445人	148.5%
		四 肢	17人	18人	94.4%
	内 視 鏡	上 部	240人	245人	98.0%
		下 部	133人	100人	133.0%
	X線透視	胃 部	3人	1人	100.0%
		大 腸	0人	1人	0.0%
	超 音 波	腹 部	66人	55人	120.0%
		心 臓	28人	27人	103.7%
		その他	4人	10人	40.0%
	そ の 他		20人	18人	111.1%
	小 計		2,178人	1,926人	113.1%
合 計			4,046人	3,873人	104.5%

年度		当年度	前年度	前年度比
区分				
逆 紹 介 患 者 数		2,890人	2,456人	117.7%

外来は豊田加茂医師会会員からの紹介が50.6%、特養等介護施設からの紹介は32.6%であった。

入院は近隣の急性期病院からの転院で65.1%を占めており、高度急性期を提供する病院の後方支援機能を果たすことができた。また、特養等介護施設からの救急入院が20.6%、豊田加茂医師会会員からの紹介が10%であり、急性期機能も果たすことができた。

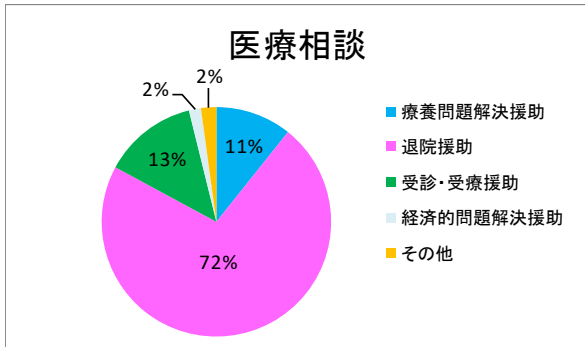
検査は豊田加茂医師会会員からの紹介が98.1%であり、主だった検査はCT・MRIが77.3%を占めており、高額医療機器の共同利用に繋がった。



4.3.2 医療相談実績

年度		H30年度	H29年度	前年度比
区分				
医療相談件数		5,873人	6,201人	94.7%

主だった相談は退院支援が72%を占めており、地域包括ケア病床が51床と増床した影響もあり、在宅と有料老人ホームへの退院調整が増えている。また、在院期限60日を目標とすることで退院までの支援期間も短縮化が図れている。



4. 4 在宅実績

4. 4. 1 地域包括支援実績

区分 \ 年度	H30年度	H29年度	前年度比
家族介護交流事業	12件	12回	100. 0%
介護予防教室	3回	2回	150. 0%
認知症サポーター養成講座	1回	3回	33. 3%
出前講座	4回	6回	66. 7%
地域ケア会議	5回	11回	45. 5%
認知症カフェ	12回	10回	120. 0%
地域行事参加	23回	18回	127. 8%

区分 \ 年度	H30年度	H29年度	前年度比
介護予防支援	1, 119件	1, 090件	102. 7%
新規契約者数(再掲)	34件	51件	66. 7%
相談件数	3, 371件	3, 038件	111. 0%

4. 4. 2 居宅介護支援実績

区分 \ 年度	H30年度	H29年度	前年度比
要 支 援 1	0人	0人	—
要 支 援 2	0人	0人	—
要 介 護 1	288人	275人	104. 7%
要 介 護 2	265人	223人	118. 8%
要 介 護 3	215人	217人	99. 1%
要 介 護 4	226人	190人	118. 9%
要 介 護 5	143人	109人	131. 2%
合 計	1, 137人	1, 014人	112. 1%

区分 \ 年度	H30年度	H29年度	前年度比
契約者数	1, 187人	1, 098人	108. 1%
新契約者数(再掲)	62人	31人	200. 0%
相談受付	94人	50人	188. 0%

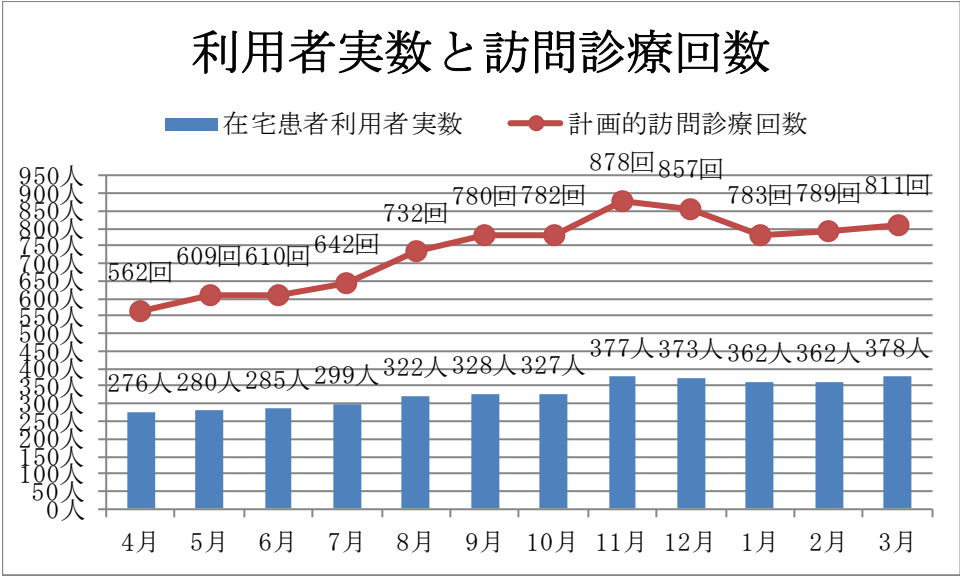
4. 4. 3 訪問看護実績

区分 \ 年度	H30年度	H29年度	前年度比
利用者実数	1, 934人	2, 224人	87. 0%
新規利用者数(再掲)	78人	125人	62. 4%
終了者数(死亡を含む)	81人	111人	73. 0%
入所・入院者数	290人	380人	76. 3%
24時間緊急対応(予定外)	出勤	431人	66. 5%
	電話	230人	
在宅看取り件数	35人	36人	97. 2%

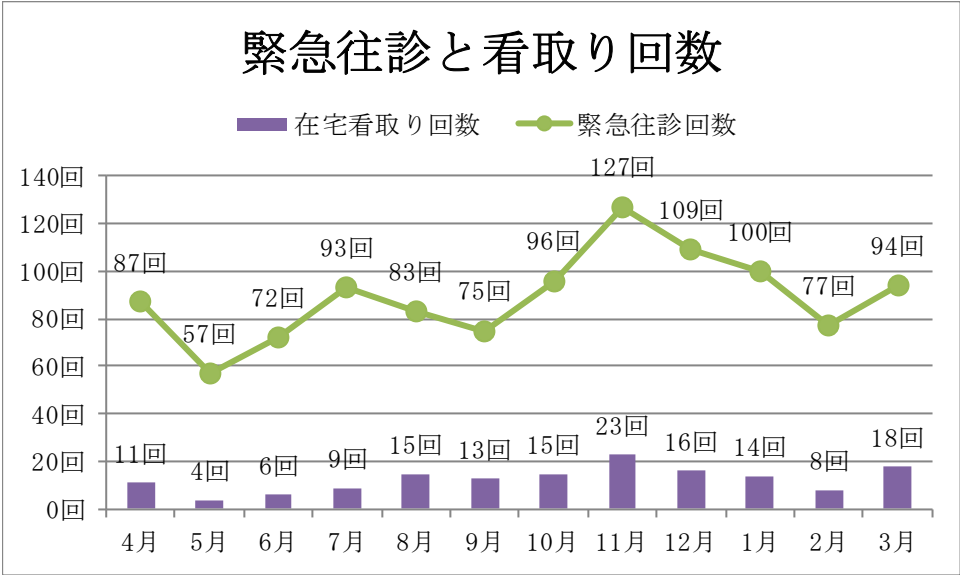
年度 区分		H30年度	H29年度	前年度比
訪問 看護	介護保険	5, 296件	6, 661件	79. 5%
	医療保険	2, 623件	3, 704件	70. 8%
	小 計	7, 919件	10, 365件	76. 4%
訪問 リハビ リ	介護保険	1, 414件	1, 464件	96. 6%
	医療保険	937件	1, 158件	80. 9%
	小 計	2, 351件	2, 622件	89. 7%
合 計		10, 270件	12, 987件	79. 1%

4.4.4 訪問診療実績

区分	年度		
	H30年度	H29年度	前年度比
計画的訪問診療回数	8,835回	6,132回	144.1%
緊急往診回数	1,070回	921回	116.2%



計画的な
訪問回数：年間 8,835 回
利用者数：最高 378 人



緊急往診：年間 1,070 回
在宅看取：年間 152 回

4.5 部門実績

4.5.1 医療安全管理部門

＜職種別アクシデント・インシデント件数＞

職種	アクシデント件数		インシデント件数	
	H30 年度	H29 年度	H30 年度	H29 年度
医師	0 件	0 件	3 件	1 件
看護師	4 件	7 件	728 件	574 件
薬剤師	0 件	0 件	7 件	14 件
技師等	0 件	0 件	66 件	102 件
事務職員	0 件	0 件	2 件	2 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件
合 計	4 件	7 件	806 件	693 件

＜内容別アクシデント・インシデント件数＞

内容	アクシデント件数		インシデント件数	
	H30 年度	H29 年度	H30 年度	H29 年度
薬剤	0 件	0 件	269 件	207 件
輸血	0 件	0 件	0 件	0 件
治療・処置	0 件	0 件	32 件	11 件
医療機器等	0 件	0 件	14 件	10 件
ドレーン	0 件	0 件	136 件	113 件
検査	0 件	0 件	59 件	48 件
治療上の世話	4 件	7 件	259 件	243 件
その他	0 件	0 件	37 件	61 件
合 計	4 件	7 件	806 件	693 件

＜内容別アクシデント・インシデント発生比率＞

内容比率 (%)	H30 年度	H29 年度	※日本医療機能評価
薬剤	33.4%	29.9%	30.0%
輸血	0.0%	0.0%	0.4%
治療・処置	4.0%	1.6%	5.5%
医療機器等	1.7%	1.4%	3.2%
ドレーン	16.9%	16.3%	10.1%
検査	7.3%	6.9%	8.8%
治療上の世話	32.1%	35.1%	25.0%
その他	4.6%	8.8%	17.0%

※日本医療機能評価

平成 27 年度病床規模別発生件数報告（病床数が 100～199 床の医療機関）における発生比率

4.5.2 感染管理部門

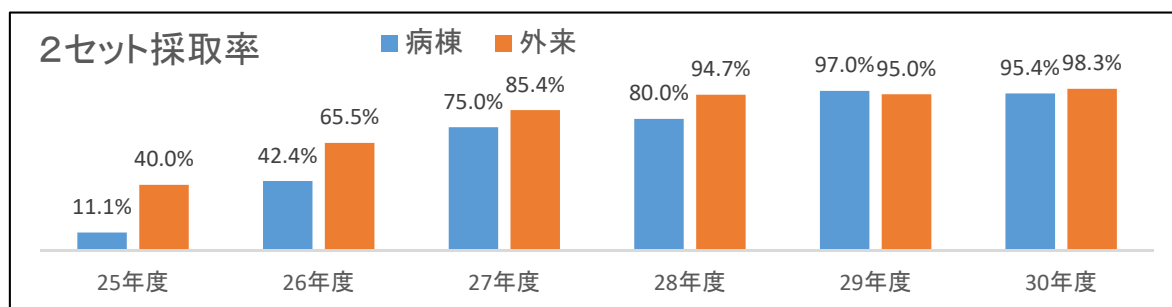
<薬剤耐性菌サーベイランスの発生件数>

内容	H30 年度	H29 年度	H28 年度	H27 年度	H26 年度
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）	53 件	59 件	56 件	38 件	45 件
バンコマイシン耐性陽球菌（VRE）	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
多剤耐性緑膿菌（MDRP）	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
ペニシリン耐性肺炎球菌（PRSP）	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌（VRSA）	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
多剤耐性アシネトバクタ属（MDRA）	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ（ESBLs）	98 件	62 件	60 件	23 件	11 件
β ラクタマーゼ陰性 ABCP 耐性インフルエンザ菌（BLNAR）	5 件	3 件	4 件	1 件	1 件
メタロ β ラクタマーゼ産生菌	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
カルバペネム耐性腸内細菌（CRE）	1 件	4 件	0 件	0 件	1 件
その他	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件

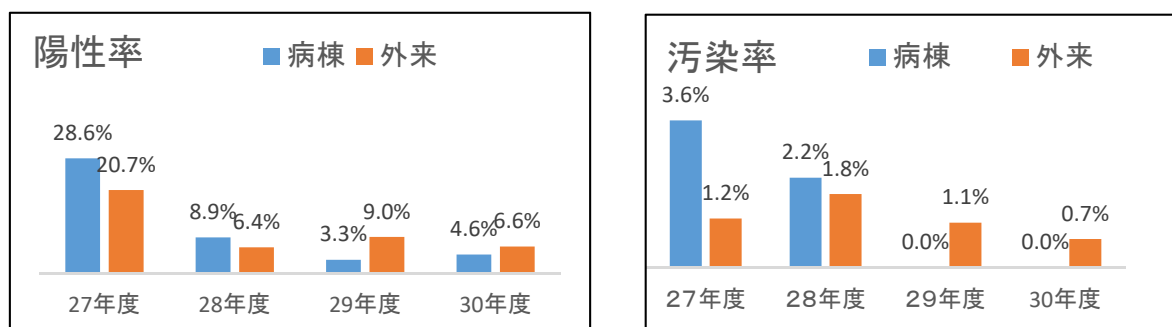
・厚生労働省サーベイランス事業（全入院部門・検査部門）に参加。

<血液培養検査状況>

・血液培養検査の2セット採取を推奨している。



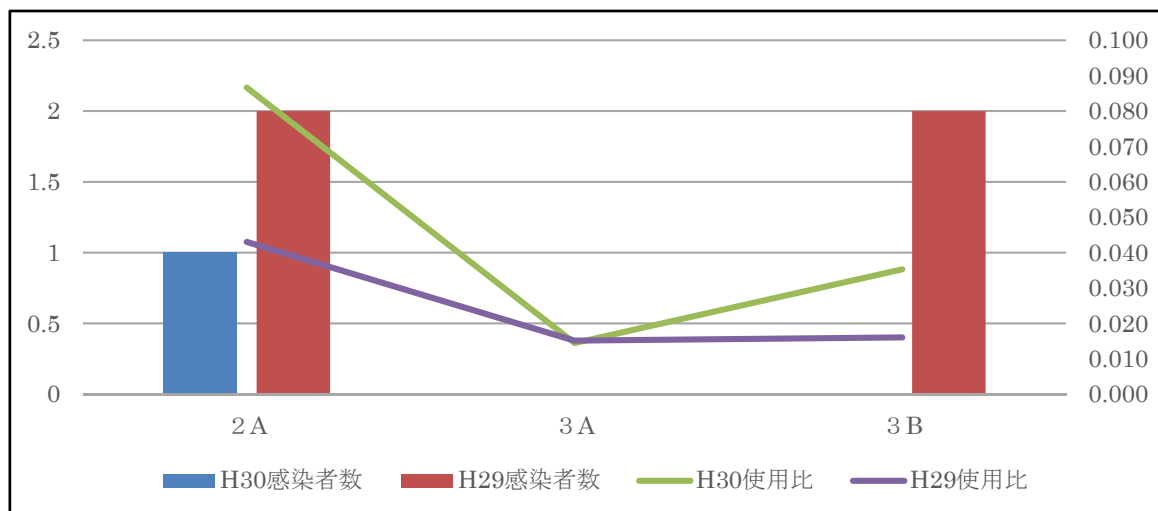
・依頼件数増加により陽性率は低下した。



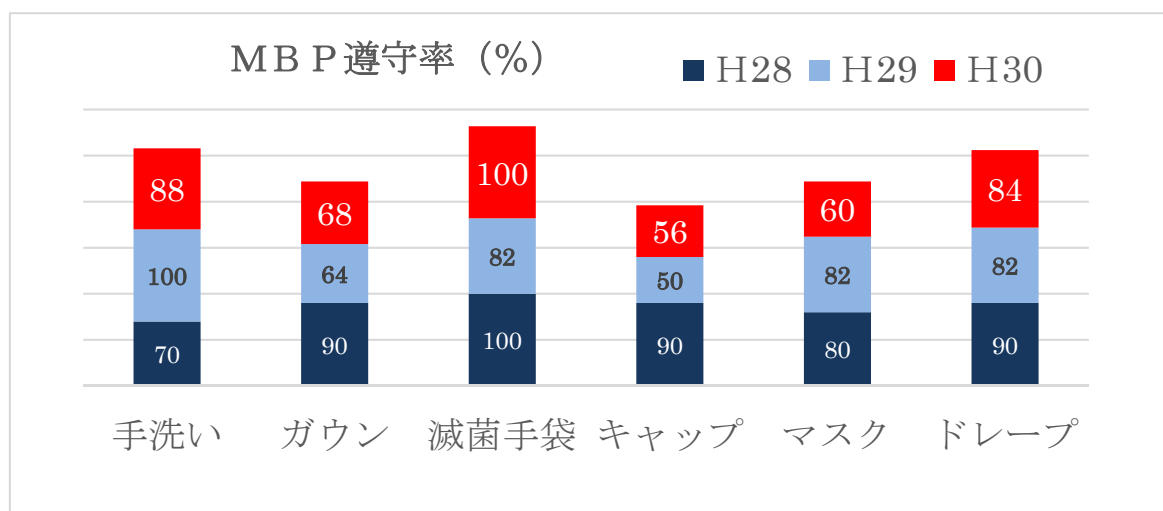
<医療関連感染の発生件数>

内容	H30 年度	H29 年度	H28 年度
中心ライン関連血流感染	1 件	4 件	3 件

<中心ライン使用比と部署別感染症昨年度との比較>



- ・中心ライン使用比は昨年よりは上昇傾向。平成 30 年度 1 件の感染症例があった。
- ・当院で新規に挿入される件数は 25 件で昨年よりは多くなっている。



- ・マキシマルバリアプレーションの遵守は H27 年度より遵守率が下がっている。特にキャップ・ガウンの使用率が下がる結果となった。

4.5.3 診療部門

< 主な入院指導・管理件数 >

内容	H30年度	H29年度
救急医療管理加算	2,507件	2,344件
在宅患者緊急入院診療加算	2件	4件
難病患者等入院診療加算	219件	659件
退院支援加算	396件	396件
地域連携診療計画加算	121件	104件
介護支援連携指導料	18件	50件
退院時共同指導料	143件	116件

< 主な外来指導・管理件数 >

内容	H30年度	H29年度
特定疾患療養管理料	7,669件	8,045件
難病外来指導管理料	312件	362件
夜間休日救急搬送医学管理料	457件	502件

< 時間外・救急件数 >

内容	H30年度	H29年度
救急車搬入数	985件	1,024件
救急車転送数	209件	231件
時間外・救急入院数	205件	184件

< 栄養指導件数 > ※

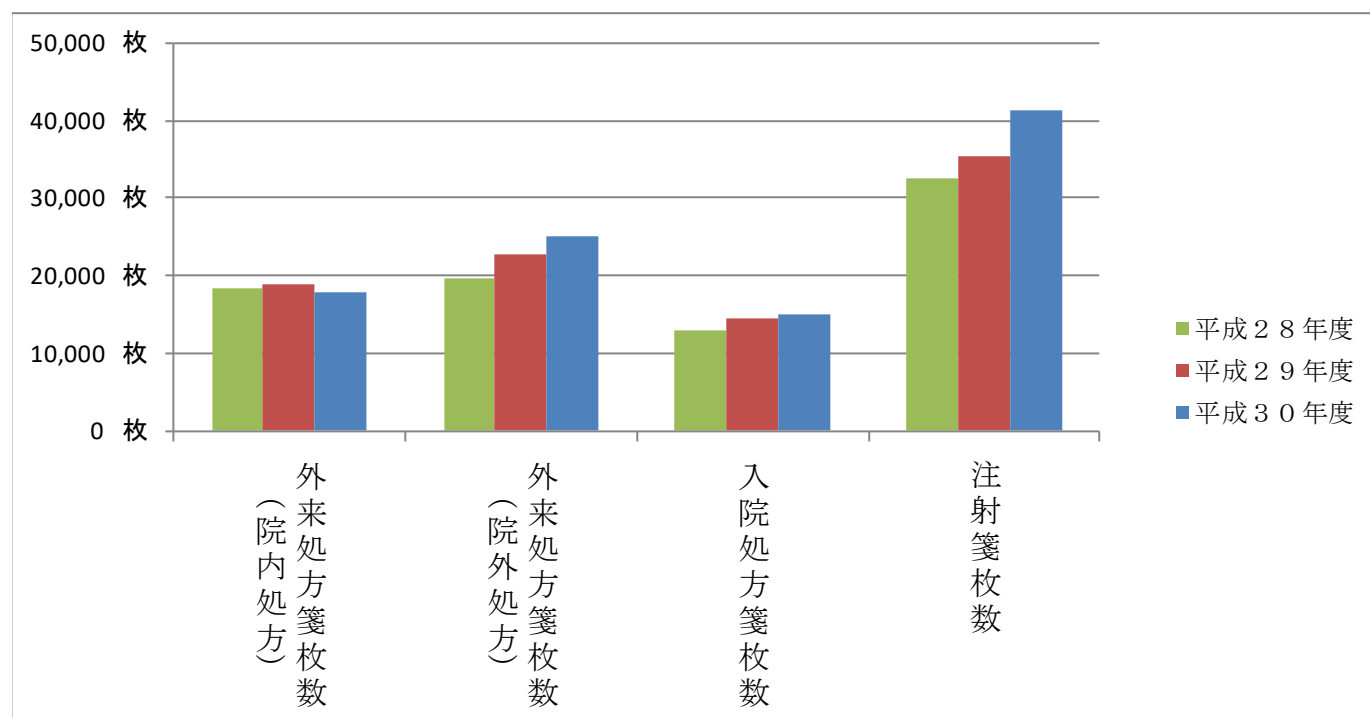
内容	H30年度	H29年度
入院栄養食事指導料	121件	100件
外来栄養食事指導料	627件	853件
訪問栄養食事指導料	60件	73件

※ 算定件数を計上

4.5.4 薬剤部門

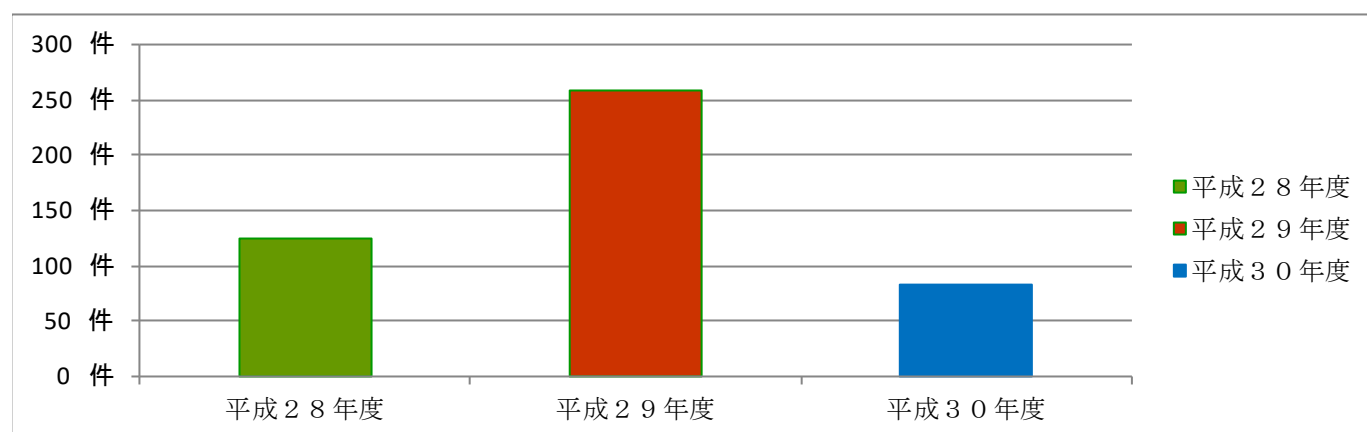
＜処方箋枚数＞

処方箋枚数	平成30年度	平成29年度	平成28年度
外来処方箋枚数（院内処方）	17,876 枚	18,834 枚	18,521 枚
外来処方箋枚数（院外処方）	24,985 枚	22,783 枚	19,657 枚
入院処方箋枚数	14,975 枚	14,443 枚	12,964 枚
注射箋枚数	41,201 枚	35,503 枚	32,620 枚



＜薬剤指導管理件数＞

薬剤管理指導件数	平成30年度	平成29年度	平成28年度
薬剤管理指導料 退院時薬剤情報管理指導料	83 件	259 件	124 件



4.5.5 診療放射線部門

＜撮影件数＞

内 容		H 30 年度	H 29 年度	H 28 年度	H 27 年度
一 般 撮 影		66,177件	65,308件	66,101件	65,719件
X 線 T V	注 腸	4件	16件	14件	33件
	U G I	24,801件	24,946件	25,393件	25,830件
	そ の 他	130件	69件	64件	103件
乳 房 X 線 撮 影		5,709件	5,346件	5,673件	5,775件
C T 検 査	頭 部	1,186件	1,109件	1,163件	1,217件
	軀 幹	4,025件	3,598件	3,108件	3,209件
	四 肢	52件	52件	49件	31件
M R I 検 査	頭 部	1,945件	1,852件	1,975件	2,004件
	軀 幹	678件	632件	554件	575件
	四 肢	150件	138件	115件	117件
骨 密 度 検 査		2,851件	3,026件	3,122件	3,247件
パ ノ ラ マ 撮 影		0件	4件	0件	3件

4.5.6 臨床検査部門

＜検査件数（検体・細菌・病理）＞

検査／部門	H30年度	H29年度	H28年度
生化学検査	68,683 件	70,765 件	69,310 件
免疫検査	28,349 件		
血液検査	69,756 件	61,370 件	60,306 件
一般検査	129,781 件	124,150 件	125,780 件
微生物検査	2,984 件	2,536 件	2,163 件
病理・細胞診検査	11,585 件	12,194 件	11,661 件
循環機能検査	68,702 件	69,245 件	68,552 件
呼吸機能検査	11,199 件	10,947 件	10,468 件
超音波検査	18,546 件	18,136 件	18,235 件

平成30年度からは、検査システム更新により表記方法が一部異なっている。

4.5.7 手術部門

＜手術件数＞

領 域	内 容	H30年度		H29年度
胃	胃切除術	4	5	2
	胃腸吻合術（ブラウン吻合）	1		
肝胆膵	腹腔鏡下胆嚢摘出術	9	11	5
	胆嚢摘出術	2		
大腸	結腸切除術	7	33	25
	人工肛門造設術	1		
	ヘルニア手術	13		
	腹腔鏡下ヘルニア手術	3		
	直腸切除術	6		
	小腸バイパス術	1		
	小腸切除	2		
虫垂	腹腔鏡下虫垂切除術	4	11	5
	虫垂切除術	7		
骨折	骨折観血的手術	10	12	11
	骨内異物除去術	2		
腱	腱鞘切開術	2	2	0
その他	皮下腫瘍摘出術	7	24	7
	中心静脈カテーテル埋め込みポート	4		
	陥入爪手術	3		
	デブリードマン	10		
合 計		98		55

4.5.8 リハビリテーション部門

<リハビリテーション単位>

(1) 診療種別

単位数		H30年度	H29年度	H28年度
脳血管	理学療法	18,199単位	19,706単位	17,463単位
	作業療法	17,135単位	16,528単位	14,552単位
	言語療法	13,161単位	9,794単位	12,406単位
	小計	48,495単位	46,028単位	44,421単位
運動器 I	理学療法	33,349単位	29,686単位	25,483単位
	作業療法	27,888単位	22,345単位	20,088単位
	小計	61,237単位	52,031単位	45,571単位
呼吸器	理学療法	1,232単位	1,253単位	531単位
	作業療法	899単位	735単位	357単位
	小計	2,131単位	1,988単位	888単位
廃用	理学療法	66単位	0単位	0単位
摂食嚥下	言語療法	2,369単位	1,765単位	1,788単位
物忘れ	作業療法	400単位	476単位	576単位
総合計単位数		114,698単位	102,288単位	93,244単位

(2) 部門別

単位数		H30年度	H29年度	H28年度
理学療法		52,846単位	50,645単位	43,477単位
作業療法		46,322単位	40,084単位	35,573単位
言語療法		15,530単位	11,559単位	14,204単位
総合計単位数		114,698単位	102,288単位	93,254単位

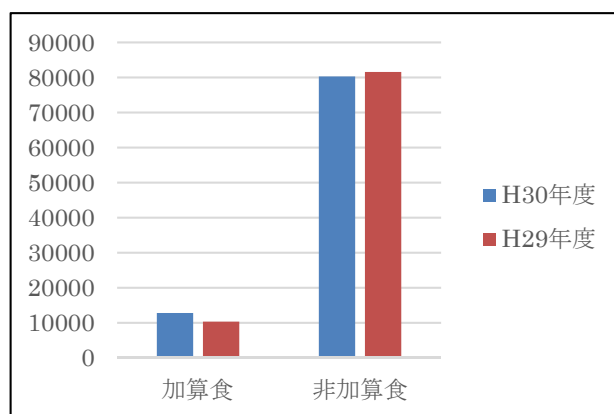
(3) 入院・外来別総合単位数

単位数		H30年度	H29年度	H28年度
入院	入院単位数	113,236単位	100,734単位	90,966単位
外来	外来単位数	1,462単位	1,554単位	2,288単位
総合計単位数		114,698単位	102,288単位	93,254単位

4.5.9 栄養管理部門

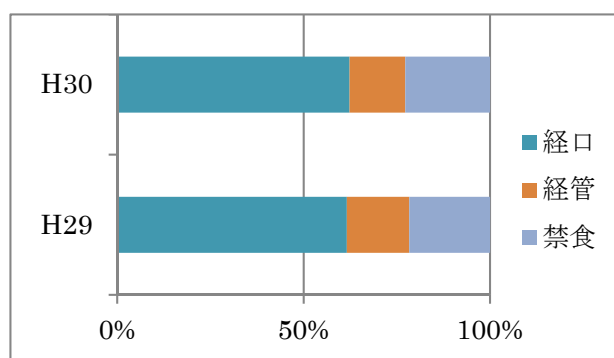
＜患者食提供件数＞

内 容	H30 年度	H29 年度
加算食	12,833 件	10,376 件
非加算食	80,282 件	81,564 件
総合計	93,115 件	91,940 件



＜経口摂取と経管栄養の内訳＞

内 容	H30 年度	H29 年度
経 口	93,115 件	91,940 件
経 管	22,330 件	25,031 件
禁 食	33,971 件	32,359 件
総合計	149,416 件	149,330 件

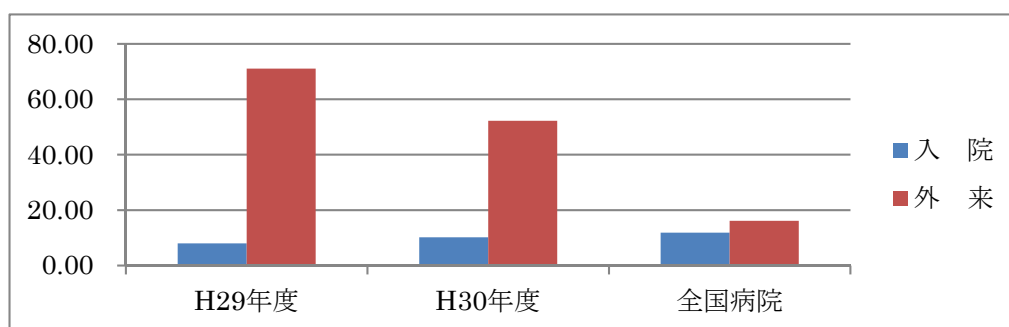


＜入院・外来栄養指導算定件数＞

当院における1ヶ月の算定指導実績と全国調査の比較

内 容	H30 年度	H29 年度	※全国平均
入 院	10.17 件	8.00 件	11.88 件
外 来	52.25 件	71.08 件	16.12 件

※平成26年度全国病院栄養部門実態調査（病床別100～199床）より



＜訪問栄養指導件数＞

1ヶ月の算定実績

内 容	H30 年度	H29 年度
訪問栄養指導	5.00 件	6.92 件

5 委員会状況

5.1 委員会一覧

- 医事紛争処理委員会
- 倫理委員会
- 臨床研修委員会
- 医療安全管理委員会
- 院内感染対策委員会
- 診療実務委員会
- 健診運営委員会
- サービス向上委員会
- 診療報酬委員会
- 内視鏡室運営委員会
- 栄養管理委員会
- N S T 委員会
- 褥瘡防止対策委員会
- 薬事材料委員会
- 臨床検査適正化・輸血療法委員会
- 入退院判定会
- 医療ガス安全管理委員会
- 災害対策委員会
- 広報委員会
- 衛生委員会
- IT 委員会

5.2 主な委員会の活動報告

5.2.1 医療安全管理委員会

1) 委員会目的

当院における医療安全管理体制の確立、医療安全管理のための具体的方策及び医療事故発生時の対応方法等について、適切に医療安全管理を推進し、安全な医療の提供に資することを目的とする。委員会は毎月第4木曜日に開催する。

2) 会議内容

- ・インシデント事故報告、セーフティマネジメント部会、事故防止のための対策・改善、研修会計画、医療過誤情報等の定例内容をはじめ医療安全に関する内容

3) 主な活動内容

開催日	研修名	参加者
H30/ 4/ 4	新採用者医療安全管理オリエンテーション	新規採用者 20名
H30/ 5/11	医薬品安全管理研修	全職員 73名
H30/ 7/13	医療安全管理研修会	全職員 294名
H30/ 7/24	医療安全管理研修会	全職員 294名
H30/ 7/27	医療安全管理研修 看護部補助員	補助職員 12名
H30/ 9/ 5	医療安全管理研修 リハビリテーション科	職員 20名
H31/ 3/13	院内安全フォーラム	全職員 321名

●セーフティマネジメント部会WGより

①月別インシデントアクシデント発生件数推移（単位：件）

■説明

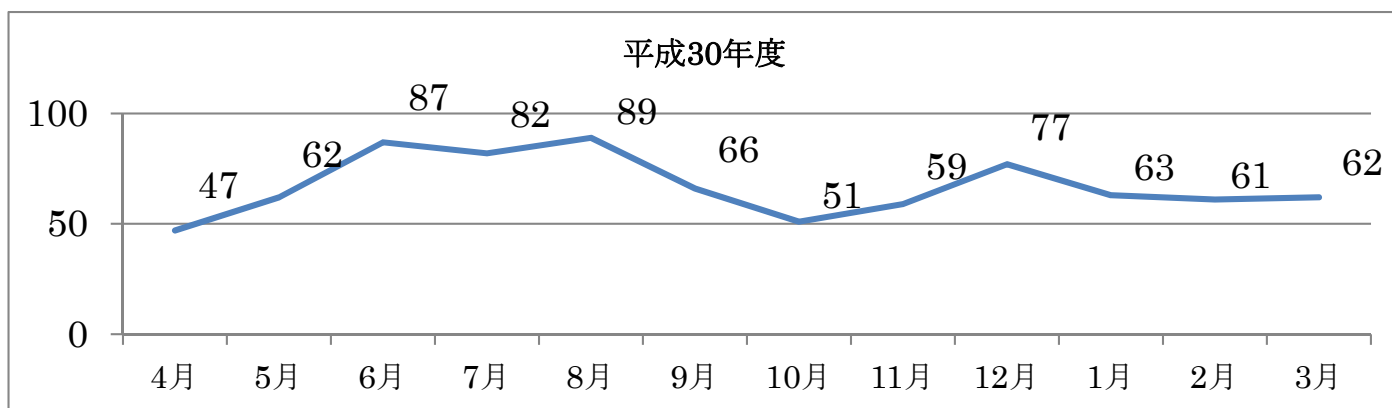
医療安全管理委員会はインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数を毎月報告をしてその推移を調査している。この指標は、一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書で比較ができる。

■定義

インシデントアクシデント各月の発生件数より

■比較指標

一般社団法人日本病院会 2013 医療安全に係わる報告書より病床規模別、100床あたりのヒヤリ・ハット件数では、いずれの病床規模別においても 37.6～42.5 件



②転倒転落 発生率 (単位:‰)

■ 説明

病院に入院したにもかかわらず、ベッド周辺、歩行途中、トイレに行く戻りなど思わぬところで転倒・転落があります。医療安全管理委員会にインシデント／アクシデントレポートとして報告された件数をもとに、入院患者さん全体より転倒転落の報告がされた発生率を求めている。この指標は、一般社団法人日本病院会 2016 医療安全に係わる報告書で比較ができる。

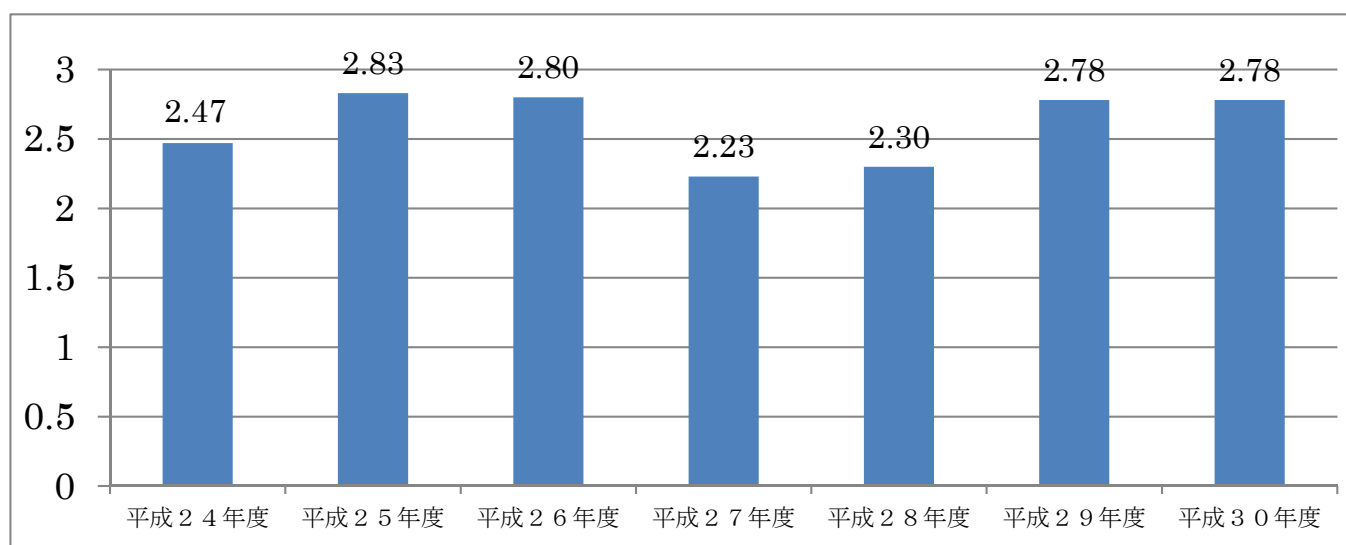
■ 定義

転倒・転落件数／入院患者延数

■ 比較指標

転倒転落発生率 2015 データー1 年間の平均は、平均値 2.64‰ (中央値 2.42‰)

2016 データー1 年間の平均は、平均値 2.72‰ (中央値 2.58‰)



5.2.2 院内感染対策委員会・ICT 委員会

1) 委員会目的

- 院内感染対策委員会：院内感染予防対策を推進することを目的として毎月第2火曜日に開催する。
- ICT 委員会：院内感染防止のための調査・研究及び対策の確立に関し、迅速かつ機動的に活動することを目的として毎月第1火曜日に開催する。

2) 活動内容

＜院内感染対策委員会＞：定期開催 12 回開催。主に「感染症情報報告」「抗菌薬情報」「ICT 委員会報告」を行った。

・H30 年度は 2A、3A、3B 病棟でインフルエンザの院内発症があり臨時の院内感染対策委員会を 3 回開催し対応を協議した。

＜ICT 委員会＞

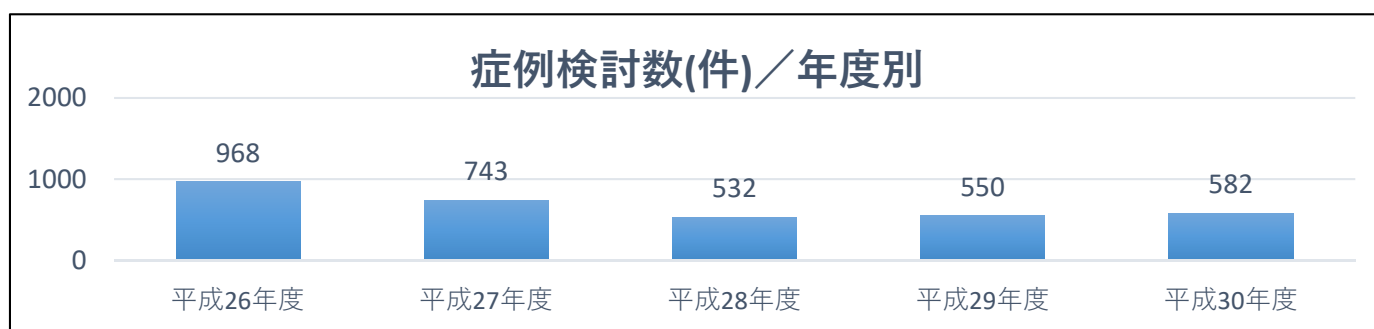
＊感染防止対策加算＊

○感染防止対策加算を 2。加算 2 であり、加算 1 病院の豊田厚生病院と地域連携を行うこととなった。ToRIC は継続し参加しており年 6 回参加している。

※ToRIC とは「豊田周辺地域における感染制御ネットワーク」略

○抗菌薬症症例カンファレンス

＜症例件数＞



	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
H26 年度	85	100	88	94	106	68	86	66	64	58	76	77
H27 年度	95	70	65	54	82	65	45	56	69	58	43	41
H28 年度	42	45	55	45	42	38	33	52	39	35	35	61
H29 年度	51	53	34	49	51	30	55	47	37	60	52	31
H30 年度	52	63	60	55	53	59	48	40	17	42	39	54

＜介入症例＞

H26 年度 3 件、H27 年度 6 件、H28 年度 1 件、H29 年度 3 件、H30 年度 0 件

○感染防止対策チームラウンド（急性期：1 回／週、その他：1 回／月）

3A 病棟	3B 病棟	2A 病棟	2B 病棟	外来	薬剤部	検査科	放射線科	合計
12 回	40 回	11 回	13 回	11 回	6 回	9 回	18 回	120 回

○医療安全フォーラムに参加。ICT スタッフの各部署での活動結果を発表した。また感染管理認定看護師（CNIC）より院内感染予防について研修を実施した。

5.2.3 健診運営委員会

1) 委員会目的

院内及び院外の健診事業の運営調整に関することを目的として、毎月最終金曜日に開催する。

2) 会議内容

院内部会、院外部会、健診部会、高齢者健診検討部会、各科（課）から提出されてきた議題に対し、委員会で検討を行い、その結果を各部会および各科（課）にフィードバックし、健診基本方針に沿った健診事業が実施できるようにする。

開催日	会議内容
H30/04/27	・ 健診基本方針及び健診運営委員会要綱の内容確認について ・ 平成29年度臨床検査精度管理調査結果について ・ みよし市住民健診入札について ・ 5月の健診医師予定について
H30/05/25	・ 豊田西ロータリークラブ健康診断について ・ 豊田市職員ストレスチェック業務入札結果について ・ みよし市住民健診及び、名古屋拘置所職員定健入札結果について ・ 6月の健診医師予定について
H30/06/29	・ 健診部会からの報告 ・ 7月の健診医師予定について
H30/07/27	・ 追跡調査報告書の加筆修正について ・ 年末年始の健診実施について ・ 健診部会及び、健康教室部会からの報告 ・ 8月の健診医師予定について
H30/08/31	・ 健診システムハード更新に伴う健診停止日について ・ 健診部会からの報告 ・ 9月の健診医師予定について
H30/09/28	・ 上部内視鏡検査枠について ・ 健診部会からの報告 ・ 10月の健診医師予定について
H30/10/26	・ 上部内視鏡検査午後枠について ・ 健診部会からの報告 ・ 上半期事業実績について ・ 11月の健診医師予定について
H30/11/30	・ 健診閑散期対策 ・ 3月のドック診察について ・ 健診部会からの報告 ・ 10月実績報告について ・ 12月の健診医師予定について
H30/12/21	・ 職員家族・友人等への人間ドック受診PR文の配布について ・ 小児メタボ健診実施について ・ 健診部会からの報告 ・ 1月の健診医師予定について
H31/01/25	・ 12月実績報告について ・ 2月の健診医師予定について
H31/02/22	・ 平成31年度愛知県立学校定期健康診断入札結果について ・ CT・MRI機器保守点検に伴う稼働停止日について ・ 1月実績報告について ・ 3月の健診医師予定について
H31/03/29	・ 風疹（第5期）実施について ・ 胃部X線の所見診断名の追加及び、再整備に向けての読影方法の見直しについて ・ 平成30年度人間ドックにおける健保・事業所取扱い変更点 ・ 4月の健診医師予定について

5.2.4 サービス向上委員会

1) 委員会目的

患者さまに良質で快適な医療を提供することを目的として、隔月第4火曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H30/ 4/24	平成 30 年度活動計画、あいさつ運動実施、健診受診者満足度調査(H29)結果の報告
H30/ 6/26	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動実施後の反省、患者満足度調査(H29)の報告、
H30/ 8/28	意見・苦情等投書に対する検討
H30/10/23	意見・苦情等投書に対する検討、外来待ち時間調査の実施、診受診者満足度調査の実施
H30/11/27	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動の実施、外来待ち時間調査の報告
H31/ 1/29	意見・苦情等投書に対する検討、あいさつ運動実施後の反省、患者満足度調査の実施、きらり賞（皆様の声報奨制度）の選考
H31/ 3/26	意見・苦情等投書に対する検討、きらり賞（皆様の声報奨制度）の選考、健診受診者満足度調査結果の報告

3) 主な活動内容

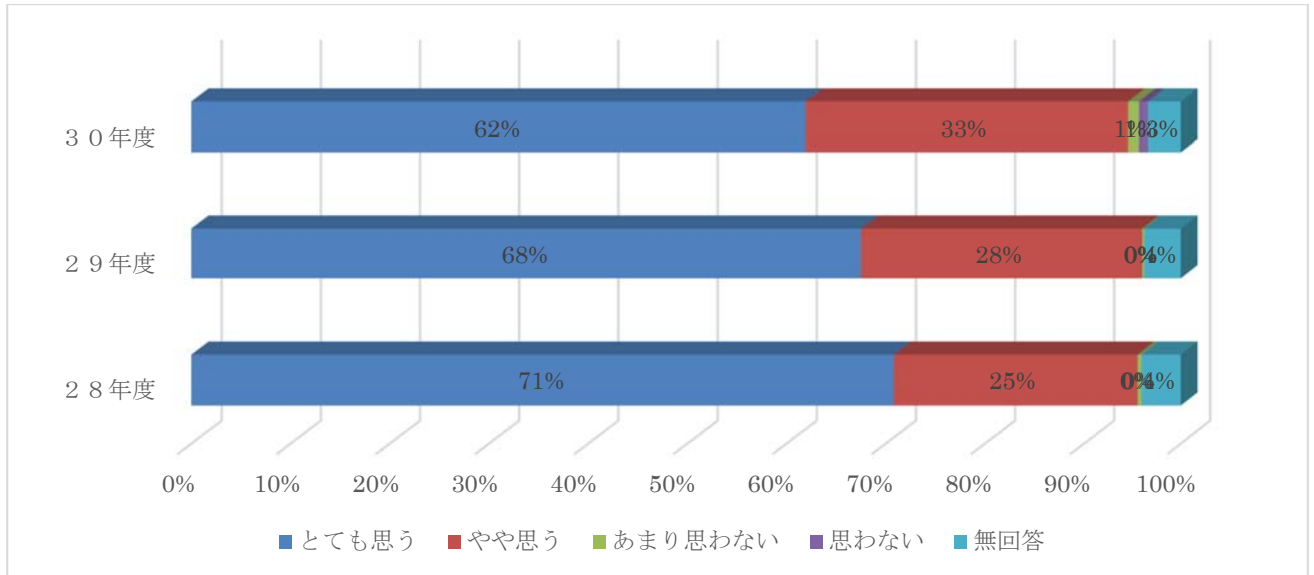
- ・病院ボランティア部会の開催
- ・あいさつ運動の実施（5月21日～25日、12月10日～14日）
- ・外来待ち時間調査の実施（11月12日～17日）
- ・健診受診者満足度調査の実施（11月12日～17日）
- ・患者満足度調査の実施（2月18日～22日）
- ・外部講師招聘による接遇研修会の実施（2月22日）
「クレームの初期対応」
- ・皆様の声報奨制度“きらり賞”の選考

■皆様の声報奨制度“きらり賞”について

- ・“きらり賞”は、日常業務において、患者・受診者等病院利用者への対応が優れており、他の模範となる個人・は部署（グループ）を表彰するものです。
- ・1年間（1月～12月）に寄せられた投書や職員の推薦を対象として、選考基準に照らし合わせ功績がとくに著しいと認められるものをサービス向上委員会委員の投票により決定します。平成30年度は該当者・部署（グループ）はありませんでした。

■ 健診受診者満足度調査結果より

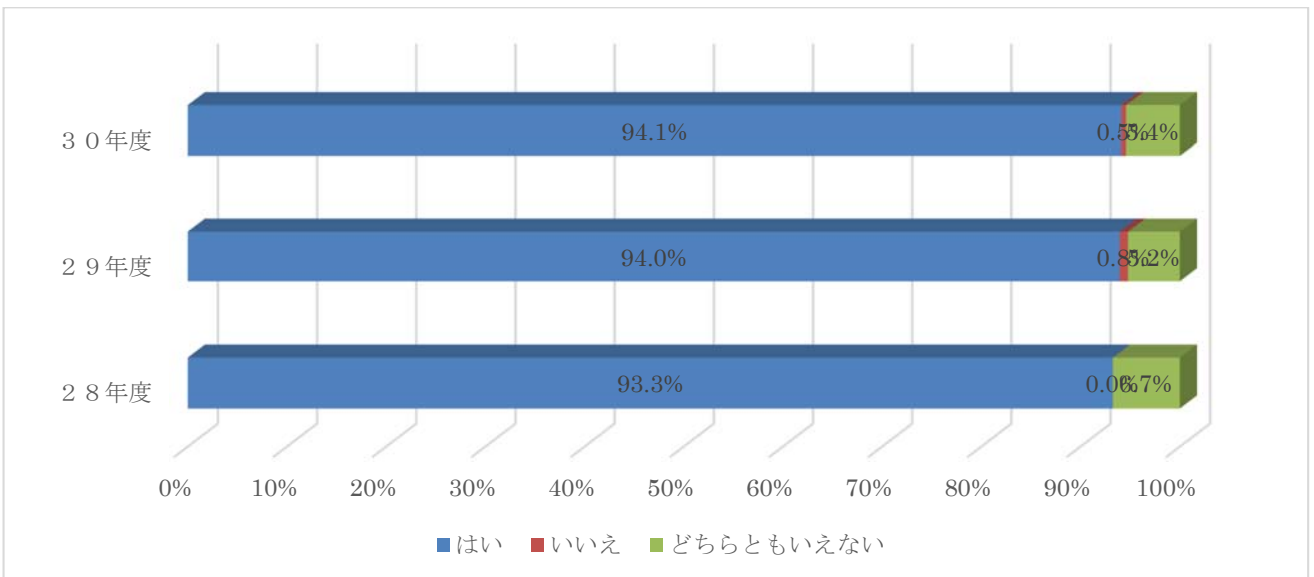
問) 今後もセンターを利用したいと思いますか？



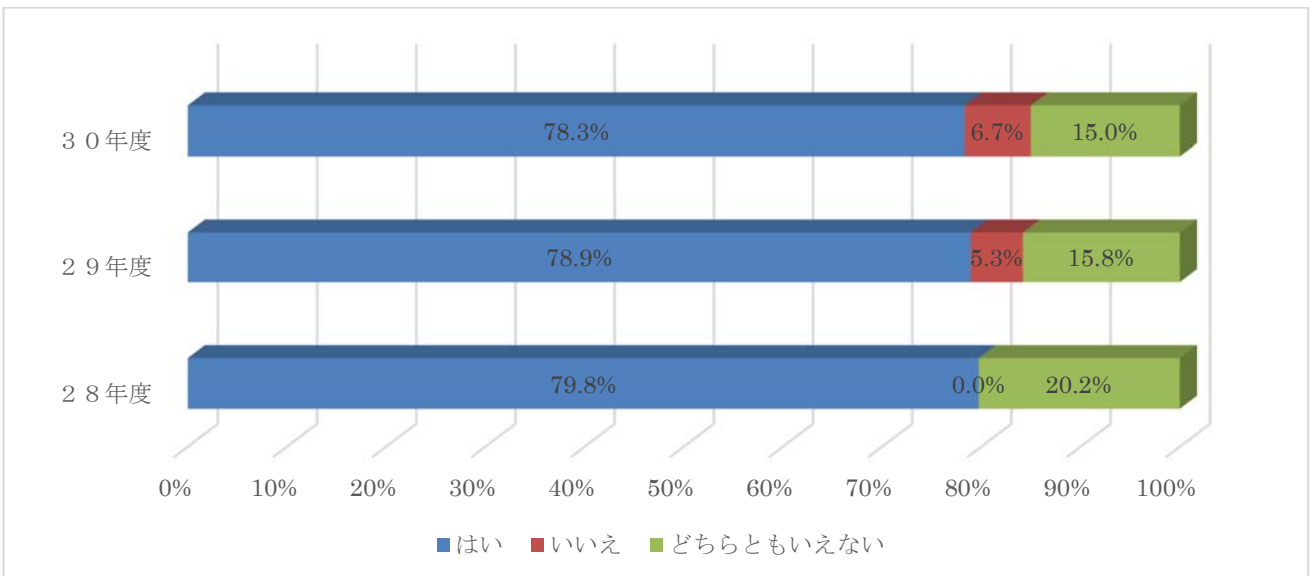
■ 患者満足度調査結果より

問) 今後もセンターを利用したいと思いますか？

[外来]



[入院]



5.2.5 診療報酬委員会

1) 委員会目的

保険診療の請求について適正な執行、周知徹底を図ることを目的として、3ヶ月に1回定期的に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H30/05/24	平成29年12月～平成30年3月分の減点分析、対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H30/08/23	平成30年4月～6月分の減点分析、対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H30/11/22	平成30年7月～9月分の減点分析、対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡
H31/02/28	平成30年10月～12月分の減点分析、対策と検討及び診療報酬算定にかかる各種連絡

3) 主な活動内容

- ・診療報酬の減点分析報告と対策を検討した。
- ・委員会での内容を各医師へ報告した。
- ・診療報酬改定の院内研修会を開催した。

4) 査定率比較 (平成30年1月～平成30年12月)

		愛知県	医療センター
H30年1月分	支払基金	0.29%	0.04%
	国保連合会	0.22%	0.01%
H30年2月分	支払基金	0.28%	0.02%
	国保連合会	0.24%	0.04%
H30年3月分	支払基金	0.28%	0.00%
	国保連合会	0.23%	0.02%
H30年4月分	支払基金	0.25%	0.43%
	国保連合会	0.24%	0.03%
H30年5月分	支払基金	0.29%	0.08%
	国保連合会	0.23%	0.01%
H30年6月分	支払基金	0.28%	-0.01%
	国保連合会	0.23%	0.00%
H30年7月分	支払基金	0.27%	0.03%
	国保連合会	0.23%	0.02%
H30年8月分	支払基金	0.29%	0.02%
	国保連合会	0.25%	0.00%
H30年9月分	支払基金	0.32%	0.10%
	国保連合会	0.25%	0.02%
H30年10月分	支払基金	0.28%	0.02%
	国保連合会	0.23%	0.01%
H30年11月分	支払基金	0.28%	0.08%
	国保連合会	0.25%	0.03%
H30年12月分	支払基金	0.30%	0.03%
	国保連合会	0.25%	0.03%

※ 再審査請求によって査定点数より復点が多い場合は、マイナス%となっている。

5.2.6 内視鏡室運営委員会

1) 委員会目的

「内視鏡の安全かつ効率的な運営」を目的として、奇数月第3木曜日に開催する。
また、内視鏡室運営に関わる問題が生じた場合は、随時委員会を開催し迅速に対応する。

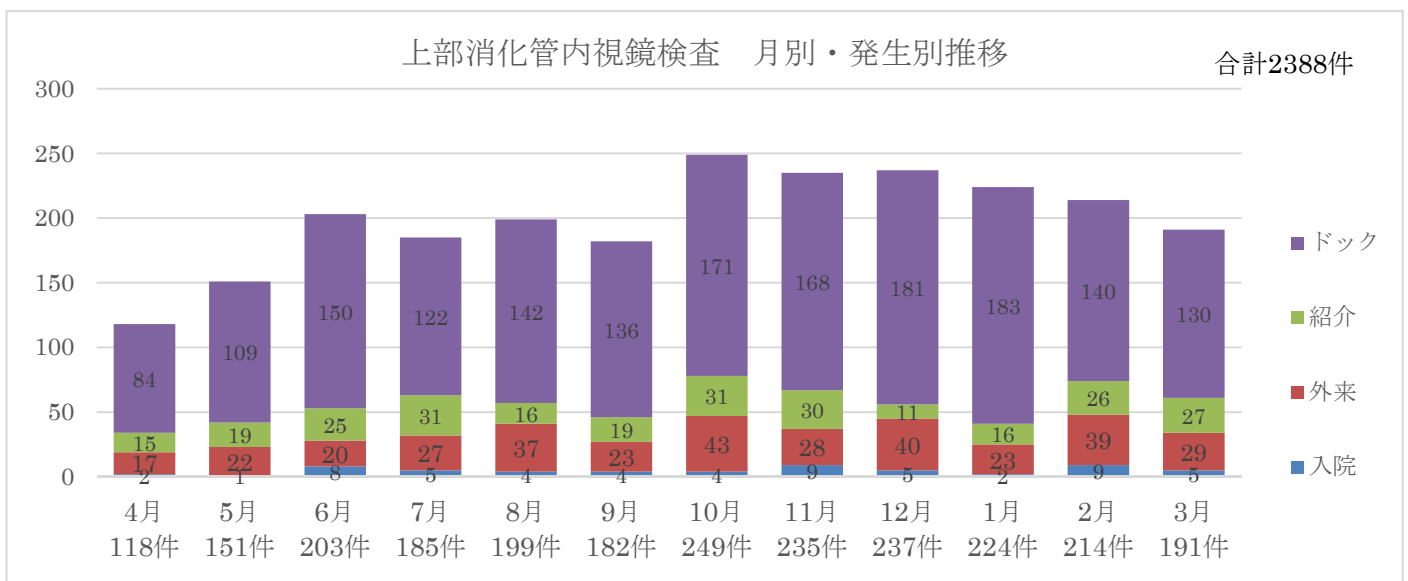
2) 会議内容

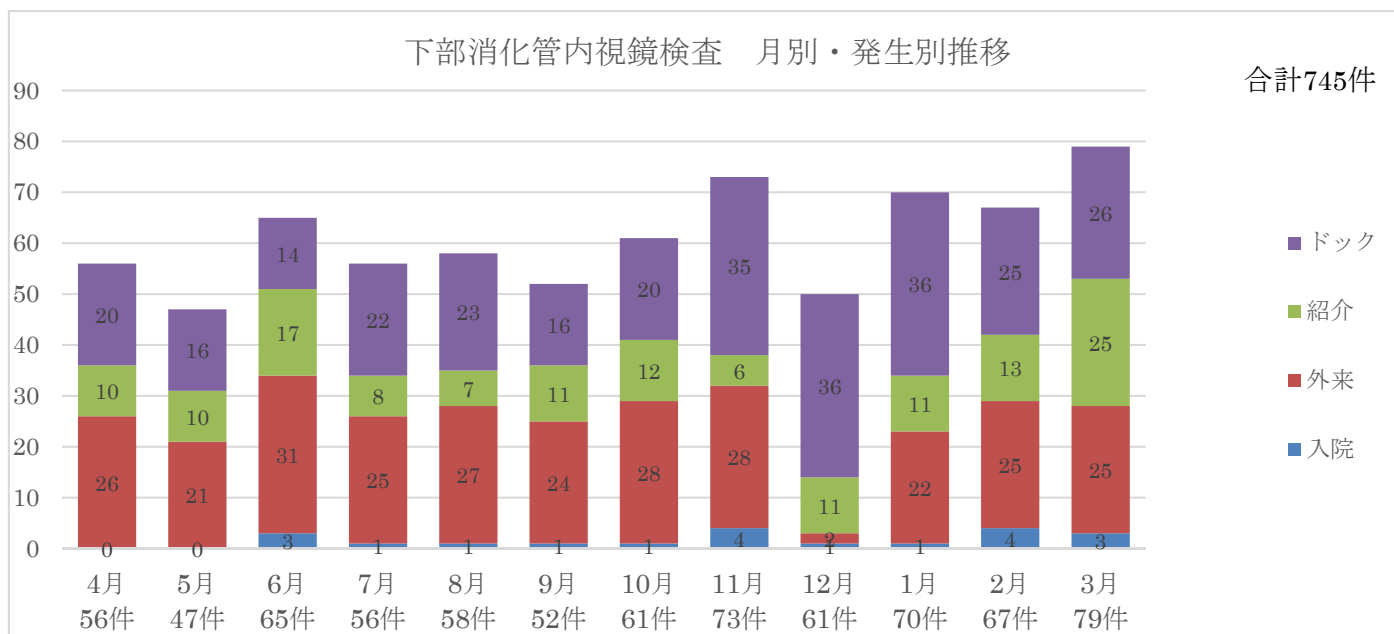
開催日	会 議 内 容
H30/05/23	1、豊田市胃がん健診が胃部 X 線検査と胃内視鏡検査の選択可に伴い内視鏡枠の拡大について
H30/09/18	1、ドック枠増枠後の経過報告と具体的な増枠と運用について
H30/10/24	1、胃内視鏡検査午後枠運用についての検討 2、胃内視鏡検査案内文の一部変更について
H31/01/28	1、FUJIFILM 内視鏡機器保守点検について 2、2019 年度の土曜日枠運用方法について 3、来年度の午後枠運用について

3) 主な活動内容

平成 30 年度 診療実績

内視鏡件数		特殊検査件数	
上部消化管内視鏡	2,388 件	内視鏡的胃ろう造設術	16 件
（内訳）経口上部内視鏡	1,211 件	鎮痛・鎮静剤併用	7 件
経鼻上部内視鏡	1,177 件		
下部消化管内視鏡	745 件	内視鏡的大腸ポリープ切除術	251 件
		内視鏡的大腸粘膜切除術	69 件
		鎮痛・鎮静剤併用	13 件





年齢構成別患者数

項目	年齢	件数	項目	年齢	件数
上部消化管内視鏡 2,388 件	0～14	0 件	下部消化管内視鏡 745 件	0～14	0 件
	15～64	1,479 件		15～64	357 件
	65 以上	909 件		65 以上	388 件

癌所見発見数とその後の経過

区分	件数		
上部消化管内視鏡	26 件	医療センターで手術	3 件
		他病院へ紹介	18 件
		オペ希望されず(看取り)	5 件
下部消化管内視鏡	21 件	医療センターで手術	10 件
		他病院へ紹介	10 件
		オペ希望されず(看取り)	1 件

大腸内視鏡治療における偶発症発生率

区分	医療センター	全国平均
偶 発 症	0.008%	0.011%

※全国平均:「消化器内視鏡関連の偶発症に関する第6回全国調査報告
2008～2012 までの5年間」より

5.2.7 栄養管理委員会

1) 委員会目的

患者の栄養管理と適切な食事提供を目的として、隔月第3月曜日に開催する

2) 活動実績

(1) 行事食

月日	行事食名	月日	行事食名	月日	行事食名
4月4日	お花見弁当	5月5日	端午の節句	6月14日	あじさい弁当
7月7日	七夕	7月20日	土用の丑	8月30日	残暑見舞い
9月24日	十五夜	10月18日	行楽弁当	11月15日	紅葉弁当
12月22日	冬至	12月24日	クリスマス	12月31日	大晦日
1月1日	元旦	2月3日	節分	3月3日	ひな祭り

(2) 患者食満足度調査

実施日	内容	対象者
平成30年5月14日～18日	無記名記入方式	78名 回答率69%
平成30年11月5日～9日	無記名記入方式	80名 回答率70%

調査期間 平成30年11月5日(月)～9日(金)

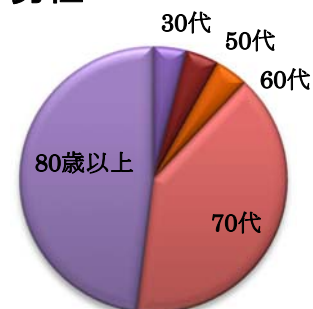
1. 方法 無記名記入方式(但し、記入困難者は職員が聞き取り記入)

2. 結果 以下の通り

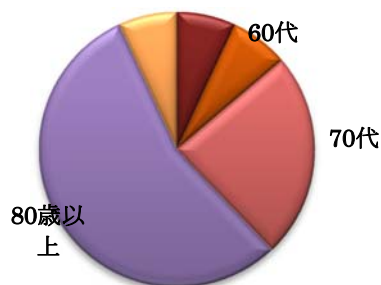
(1) 患者(年齢別)内訳(人)

年齢	男性	女性	未回答
	人数	人数	人数
10代	0	0	0
20代	1	0	0
30代	0	0	0
40代	1	2	0
50代	0	0	0
60代	1	2	0
70代	10	7	0
80歳以上	12	16	0
未回答	1	2	1
合計	26	29	1

男性



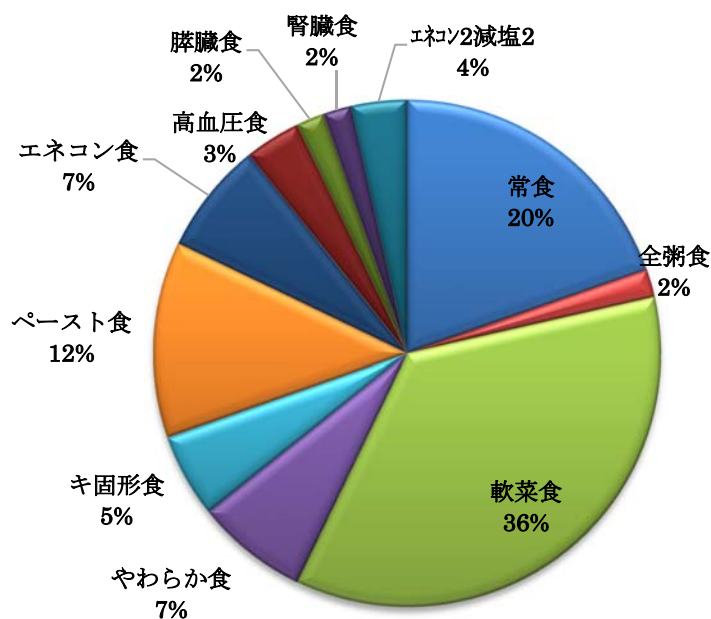
女性



(2) 食種内訳 (人)

食種内訳

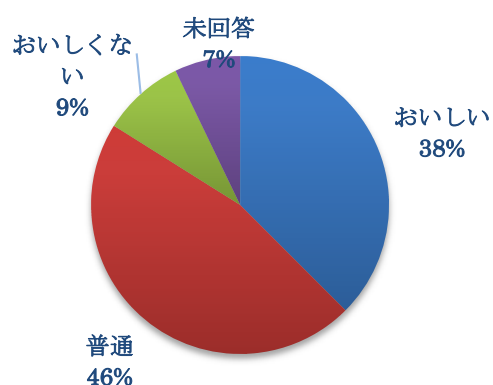
食 種	人数
常食	11
全粥	1
軟菜食	20
やわらか食	4
キ固形食	3
ペースト食	7
エネコン食	4
高血圧食	2
腎臓食	1
腎臓食	1
エネコン 2 減塩 2	2
未回答	0



(3) お米の味について (N=56)

ごはんの味	人数
おいしい	21
普通	26
おいしくない	5
未回答	4

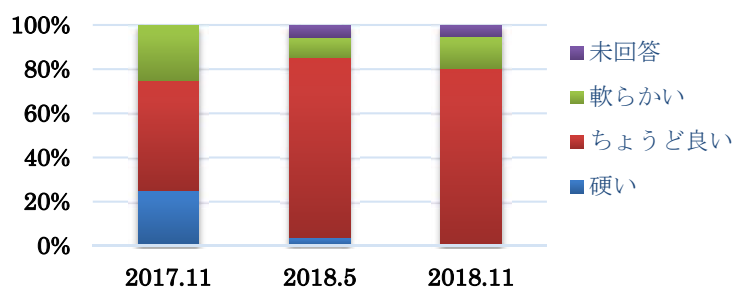
お米の味



(4) 主食の硬さについて (N=56)

主食の硬さ	人数
硬い	0
ちょうど良い	45
軟らかい	8
未回答	3

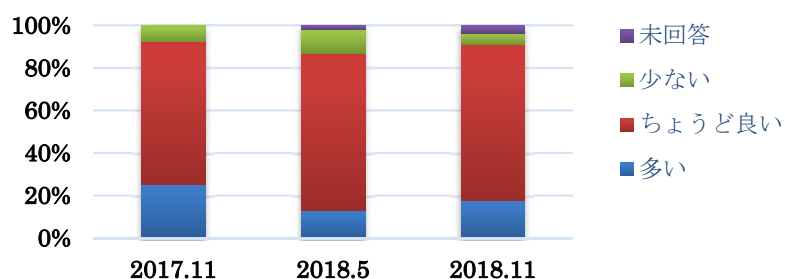
主食の硬さ



(5) おかずの量について (N=56)

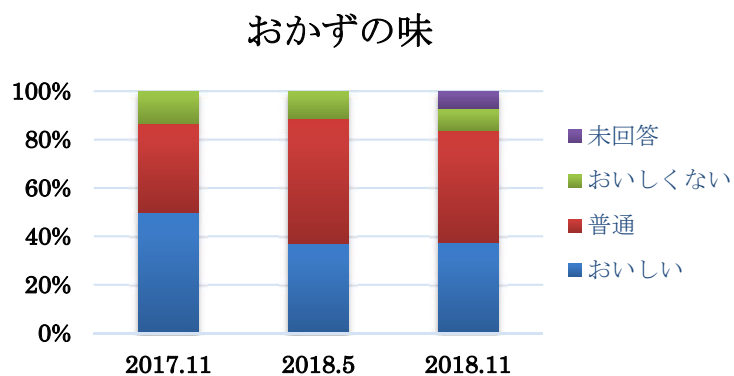
おかずの量	人数
多い	10
ちょうど良い	41
少ない	3
未回答	2

おかずの量



(6) おかずの味について (N=56)

おかずの味	人数
おいしい	21
普通	26
おいしくない	5
未回答	4



【理由や具体的な料理】

①おいしい

- ・ホイル焼きのにくの塊に味がしなかった (全粥)
- ・酢の物がとても酸っぱい時がある (全粥)
- ・魚 (腎臓 1)
- ・中華あんかけ (常食)
- ・さんまの竜田揚げ、魚 (常食)
- ・ちらし寿司、サンドイッチ (常食)
- ・サンドイッチ、中華飯 (ハーフ軟菜常)

②普通

- ・中途半端な味 (常食)
- ・みそ汁は赤味噌が好きなので赤味噌でお願いします。具は玉ねぎ、油あげがいい (エネコ 2 減塩 2)
- ・朝は卵の厚焼きが食べたい (エネコ 2 減塩 2)
- ・赤魚の煮つけが食べたい (エネコ 2 減塩 2)
- ・鮭の塩焼きがおいしかった (エネコ 2 減塩 2)
- ・最初は味がなくて野菜のゆですぎかと思いましたが濃いものと薄味とのバランスをとって考えられた食事ですので参考にしたいと思います (エネコ 2 減塩 2)

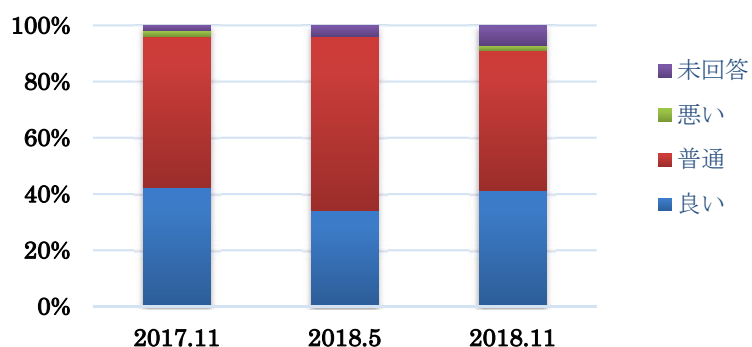
③おいしくない

- ・薄い (やわらか一口)
- ・味がしない (軟菜)

(7) 盛り付けについて (N=56)

盛り付け	人数
良い	23
普通	28
悪い	1
未回答	4

盛り付け



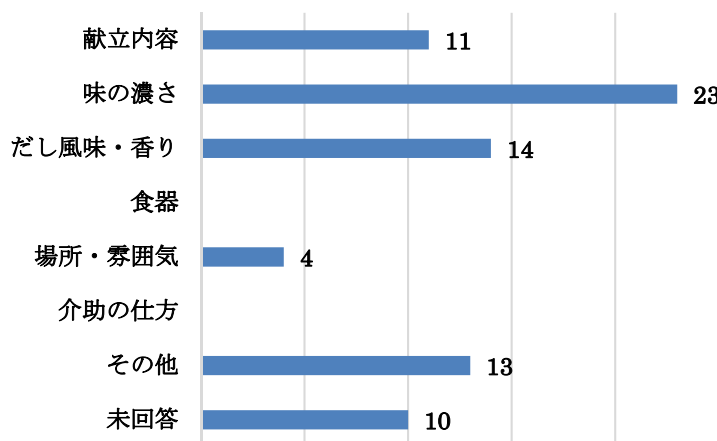
【ご意見】

- ・ご意見特になし

(8) 食欲が出るには何が必要ですか (複数回答可)

献立内容	11
味の濃さ	23
だし風味・香り	14
食器	0
場所・雰囲気	4
介助の仕方	0
その他	13
未回答	10

46名/56名 回答



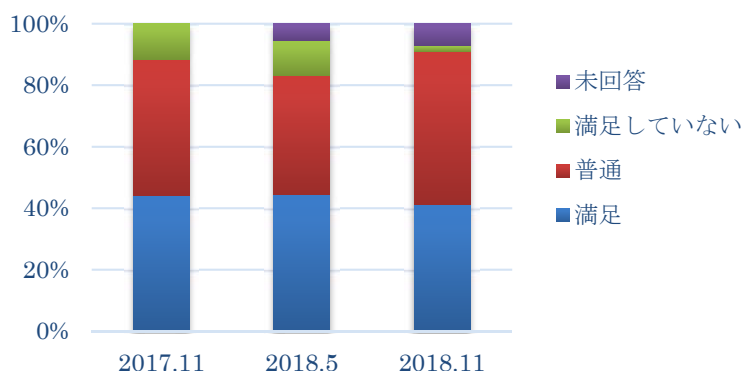
【その他】

- ・食事の前の部屋の空気づくり (常食)
- ・のどに通しやすいもの (軟菜食)
- ・みな大変いいです。本人は食べられないですが献立を見ていても感心します (エネコン3)
- ・色、香、味 (ハーフ軟菜食)
- ・今まで味付けのしっかり濃い目の方が好きだったのでお米を食べすぎていました (エネコン2 減塩2)
- ・ごぼう、豆、ひじき等出してほしい (ハーフペースト)
- ・味の調節ができるように (立ち合いのもとに) (常食)
- ・お味噌汁の香り、風味が少し不足だと思う (常食)

(9) 食事の満足について (N=56)

お食事の満足度	人数
満足	24
普通	27
満足していない	1
未回答	4

満足度



【理由】

① 満足

- ・味付け、特に煮つけ (全粥)
- ・味がいい (腎臓1 軟菜食)
- ・食事ごとに工夫されている (常食)
- ・おいしかったから (常食)
- ・薄味だが味がしみておいしい (軟菜食)
- ・優しい感じがして美味しいです (軟菜食)
- ・合った食事を出してもらいありがたいです (エネコン3)
- ・毎日野菜を多く食べているので良いと思います (エネコン2 減塩2)

② 普通

- ・病院の食事故こんなものかと思う（やわらか一口）
 - ・味が薄い（軟菜）
- ③満足していない
- ・特になし

（10）その他ご意見

- ・高血圧食を作っていただいております（高血圧2）
- ・鮭の塩焼きがおいしかった（エネコ2減塩2）
- ・おかずを増やしてほしい（エネコ3）
- ・本人が食べられないので残念ですがとてもありがとうございます（エネコ3）
- ・甘辛な味付けが好きでなんでも同じような味になっていたので調味料の使い方に気を付けたいと思います。病院食を参考に塩分を控えた食事を心がけていきます（エネコ2減塩2）
- ・野菜の煮つけはもう少し濃い味付けを希望します（軟菜食）

【結果・考察】

1. 回答者の背景

2018年3月に地域包括病床の増床後に患者背景が変化しその後は大きく変わらない印象です。常食・軟菜食を食べている高齢患者さまが増えています。

- ・提供食種は常食・軟菜食の割合が55%でした。（前回56%）
- ・年齢層は70・80才以上が80%でした。（前回81%）
- ・全体の回答率は70%でした。（前回69%）

2. 満足度

今回、初めて「主食のおいしさ」項目を設けましたが、結果的に満足度に大きく影響していることがわかりました。

- ・「満足」評価者は全体の4割でした。（前回5割弱）
- ・「満足」評価者のうち、おかずの味「おいしい」評価者は67%でした。
- ・「満足」評価者のうち、お米の味「おいしい」評価者は79%でした。
- ・「満足していない」は1名のみ（2%）でした。（前回1割強）

詳細：軟菜食・おかずの味「普通」、お米の味「おいしくない」評価でした。

3. 課題

おかずの味「おいしい」評価者の減少が前回課題でしたが、今回も改善なく、前回と同程度の結果でした。また中でも形態食提供中の患者さまからのご意見が目立ちました。

4. 今回のトピックス（設問：食欲がでるには何が必要ですか？）

今回結果でも「味の濃さ」「だし風味」は期待度が高く、過去4回連続で1.2位でした。

- ・「味の濃さ」期待者のうち「おいしい」評価者は4名（17%）、食種はすべて異なっていました。
- ・「おいしくない」評価者は4名（17%）、全員が形態食でした。

これまで提供食数の多い常食・軟菜食のおいしさ改善を中心に検討をしてきました。

今回の結果から形態食においても「おいしさ」への期待が高まっている印象を受けました。栄養素に制限のない形態食の特徴から、安全を確保しながら味付けやレシピの検討で改善を図っていきます。

5.2.8 NST委員会

1) 委員会目的

栄養障害を生じている、又はそのリスクがある患者さまの栄養療法を支援することを目的として、隔月第2火曜日に開催する

2) 会議内容

開催日	主な内容
H30/ 5/ 8	・委員会要綱の見直し ・現行のカンファレンス・回診方法についての評価・検討 ・活動報告 ・栄養管理計画実施状況評価
H30/ 7/17	・活動報告 ・栄養管理マニュアル見直し ・院内研修会実施報告 ・栄養補助食品の見直しについて ・栄養管理計画実施状況評価
H30/ 9/11	・活動報告 ・嚥下アセスメントフロー見直し ・栄養管理計画実施状況評価
H30/11/13	・活動報告 ・嚥下アセスメントフロー見直し ・栄養管理計画実施状況評価
H31/ 1/15	・活動報告 ・栄養管理計画実施状況評価
H31/ 3/ 1	・活動報告 ・エンシュア・H勉強会計画 ・褥瘡のストレス係数について ・栄養管理計画実施状況評価

3) 活動実績

内容	介入症例数	1回診当りの症例数
NST	384 件	10.1 件
嚥下チーム	12 件	

4) 院内研修会

①開催日：平成 30 年 7 月 4 日

②テーマ：「Hands on seminar」～PICC(末梢挿入式中心静脈カテーテル)とは

③講師： 藤田保健衛生大学病院 中央診療部 FNP 室

藤田診療看護師 竹松 百合子 氏

株式会社メディコン BAS 事業部 PICC 市場開発部

市場開発マネジャー 主任 森 絢子 氏

④参加者 68 名

5.2.9 褥瘡防止対策委員会

1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける院内褥瘡防止を推進することを目的として、年 4 回定期的に開催する。

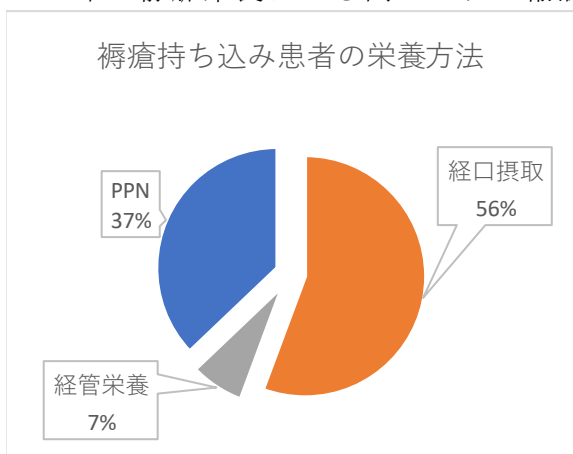
2) 活動内容

委員会開催日	会議内容
H30/04/23	委員会及び要綱の確認
	平成29年度 褥瘡院内発生・持ち込み状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H30/07/02	褥瘡回診実施状況
	褥瘡マニュアル見直しについて
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H30/10/29	褥瘡回診実施状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会について
H31/01/28	褥瘡回診実施状況
	褥瘡防止対策委員会主催の研修会報告

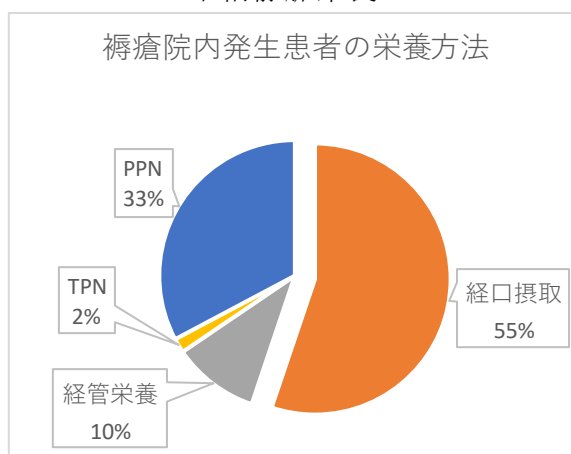
- ・医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師で構成されたチームでの褥瘡回診を、毎週月曜日に実施した。
- ・平成30年度は、褥瘡回診を計50回行い、介入患者数は158名、のべ453回の回診を行った。
- ・1回あたりの平均介入患者数は8.6人、一人あたりの平均介入回数は2.7回であった。
- ・他院または、外来入院からの持ち込みの褥瘡は92件、院内での発生は66件あった。
- ・平均介入回数は、褥瘡持ち込みが4.6回、発生は1.4回であり、院内での発生事例では短期間で改善したものが多かった。

- ・褥瘡持ち込み患者、褥瘡発生患者の主たる栄養投与方法は、以下のグラフのとおりである。

TPN=中心静脈栄養による高カロリー輸液

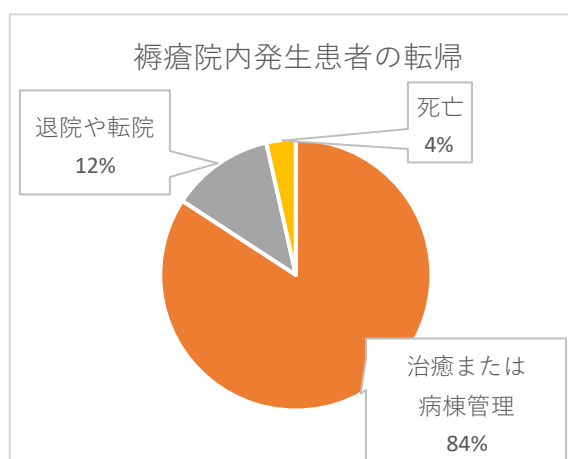
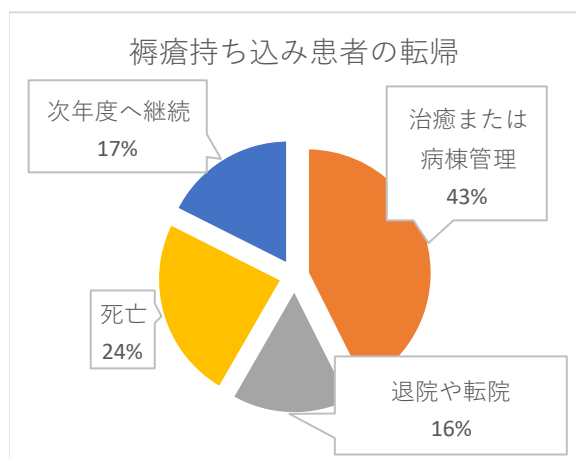


PPN=末梢静脈栄養



- ・持ち込み、院内発生ともに、経口摂取患者の割合が過半数を占めていた。
- ・褥瘡発生患者の、平均血中アルブミン値は2.5 g / d l、平均BMIは17.1であった。

- ・褥瘡持ち込み患者、褥瘡院内発生患者の転帰は、以下のグラフのとおりである。
- ・病棟管理=Ⅰ度～Ⅱ度で感染がなく浸出液もほとんどない軽症のもので、院内の褥瘡防止対策チームによる回診が終了したケース。



- ・院内発生のケースは、褥瘡も軽微で治癒または病棟管理となり終了するケースが多い。
- ・死亡例の中に、褥瘡の感染によるものは一例もなかった。
- ・褥瘡防止対策委員会の研修を平成31年1月21日(月) 17:30～18:30に開催した。参加人数は49名で「褥瘡の原因と治療」との表題でDESIGN-Rによる評価や治療のトピックスなどについて学ぶことができた。

5.2.10 薬事材料委員会

1) 委員会目的

豊田地域医療センターにおける使用薬品・材料の評価及び新規採用の検討を行うことにより、的確な治療法の確保、最大限の治療効果及び効率的な医薬品・材料の使用を推進することを目的として、偶数月第1火曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H30/ 4/ 5	・ 医薬品情報について
H30/ 8/ 7	・ 医薬品情報、医薬品・診療材料について
H30/10/ 2	・ 医薬品情報、医薬品について
H31/ 2/ 5	・ 医薬品情報、医薬品・診療材料について

3) 主な活動内容

- ・ 医薬品の新規採用の検討、採用削除品目を検討した。
(平成30年度採用品目2品目、削除品7品目)
- ・ 採用医薬品を後発医薬品に1品目変更し後発医薬品使用量割合70%以上にした。
- ・ 医薬品販売品名・剤形変更について報告した。(2件)
- ・ 医薬品販売中止品目の対応を検討した。(7件)
- ・ 診療材料の採用等を検討した。(2件)

5.2.11 臨床検査適正化・輸血療法委員会

1) 委員会目的

臨床検査の精度向上に関する活動を行うこと及び輸血療法を安全で適正に行うことを目的として、偶数月第3月曜日に開催する。

2) 活動内容

血液製剤の使用が適切であるかを審議し、使用件数の報告を行っている。

輸血製剤		H30年度		H29年度		H28年度	
RBC		33 件	104 単位	28 件	102 単位	16 件	46 単位
	破棄	1 件	2 単位	0 件	-- 単位	1 件	2 単位
FFP		0 件	-- ml	1 件	240 ml	0 件	-- ml
	破棄	0 件	-- ml	0 件	-- ml	0 件	-- ml
アルブミン		10 件	199.0 単位	2 件	16.17 単位	4 件	28.17 単位
	破棄	0 件	-- 単位	3 件	11.51 単位	0 件	-- 単位

年4回実施される精度管理調査報告により、臨床検査の精度を評価している。

精度管理実施団体	参加 施設数	評価 対象数	評価 A+B		評価 C		評価 D	
			件数	(%)	件数	(%)	件数	(%)
(1) 日本臨床衛生検査技師会	3,200	169	166	98.2	1	0.6	2	1.2
(2) 愛知県臨床検査技師会	110	159	158	99.4	0	0.0	1	0.6
(3) 日本医師会	3,100	95	95	100.0	0	0.0	0	0.0
(4) 全国労働衛生団体連合会	300	93	93	100.0	0	0.0	0	0.0

・ A、B、C、D 評価は目標値±で評価を行っている。

・ 評価 A もしくは評価 B となることが望ましい。

・ 評価対象分野

- (1) 臨床化学、免疫血清、微生物、血液、細胞、一般、生理、輸血
- (2) 臨床化学、免疫血清、微生物、血液、細胞、一般、生理、輸血
- (3) 臨床化学、免疫血清、血液、尿一般
- (4) 臨床化学、血液、尿一般

5.2.12 入退院判定会

1) 委員会目的

適切な受け入れと円滑な入退院調整の検討を目的として、毎週水曜日に開催する。

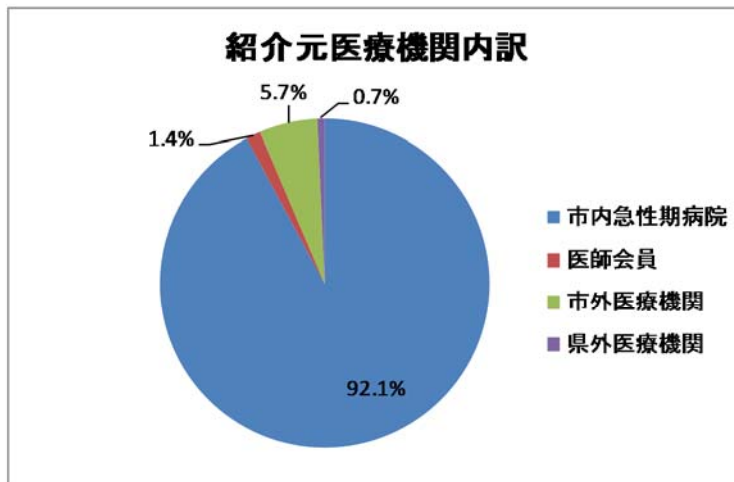
2) 会議内容

- ・入退院判定会の構成委員は内科・外科副院長、病棟看護師長、連携室看護職である。
- ・入退院判定会の受入れマニュアルに準じて、各職種の専門性を活かし、ケース検討を行っている。
- ・病棟稼働率、入院調整状況を共有している。
- ・長期入院患者の把握と退院困難ケースの現状と今後の方向性の検討を実施している。

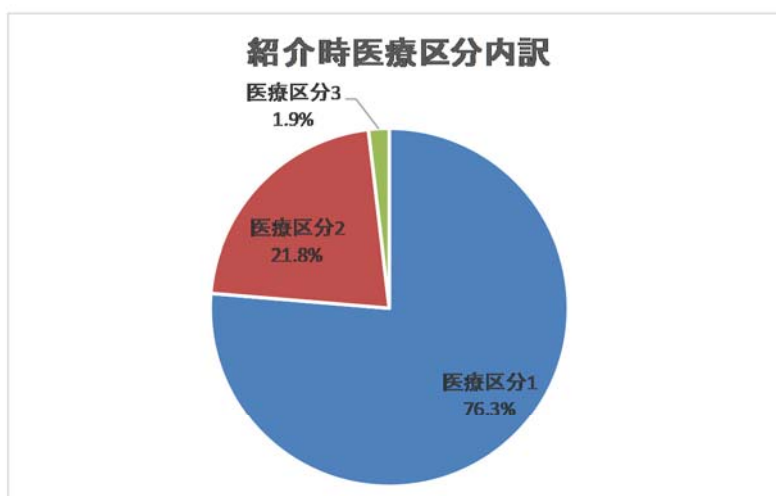
3) 活動内容

開催日	会議内容
H30/ 4 4回	・ 検討 37件
H30/ 5 5回	・ 検討 81件
H30/ 6 4回	・ 検討 48件
H30/ 7 4回	・ 検討 44件
H30/ 8 5回	・ 検討 60件
H30/ 9 4回	・ 検討 34件
H30/10 10回	・ 検討 66件
H30/11 6回	・ 検討 72件
H30/12 5回	・ 検討 66件
H31/ 1 4回	・ 検討 70件
H31/ 2 4回	・ 検討 55件
H31/ 3 4回	・ 検討 66件
総件数	699件

- ・入院判定の結果、受入れ率は99.7%であった。
- ・医療機関からの転院依頼の目的は、療養・リハビリ・施設入所調整・在宅サービス調整等であった。
- ・その他、介護福祉施設では対応困難な医療行為が必要な方のショートステイや4月から運用開始となった重症心身障害者医療型短期入所レスパイト事業の依頼があった。

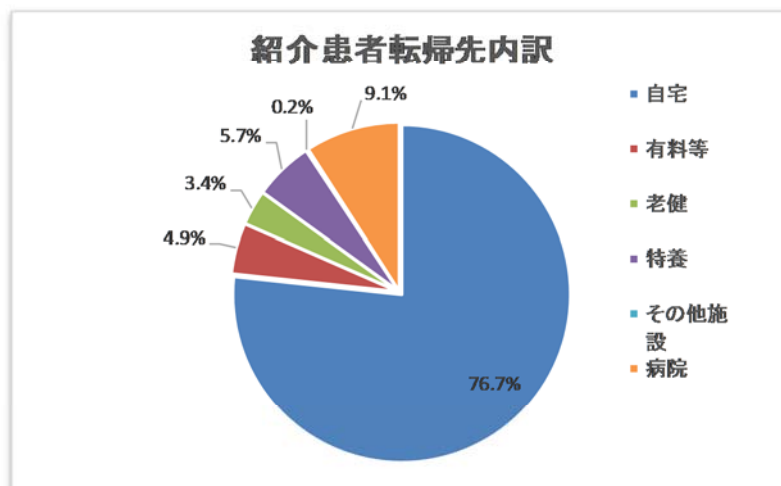


- ・紹介ケースの医療区分内訳は以下のとおりである。



- ・医療区分2に該当する行為としては、吸痰・酸素3L未満が多く、医療区分3に該当する行為としては中心静脈栄養・酸素3L以上が多い。

- ・死亡退院と入院中患者を除いた紹介患者の転帰先は以下のとおりである。



- ・患者の状態像、意向等を考慮し、退院調整を行っている。
H30年3月に一病棟全51床を地域包括ケア病棟として転換した。
よって、今後も引き続き、患者・家族の在宅退院への不安を軽減し、よりスムーズに在宅退院（または在宅扱い施設へ入所）できるよう、院内・院外の多職種と協働し支援を行うことが重要である。

5.2.13 災害対策委員会

1) 委員会目的

災害の予防、防止及び災害発生時の災害復旧を早急に行なわせ、人命の安全、財産の保全につとめることを目的として、不定期に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H30/ 4/ 6	・平成30年度 新委員について ・平成30年度 防災訓練の予定について ・防災備品及び非常食について ・委員会開催日について
H30/ 8/ 3	・第1回防災訓練について
H30/12/21	・第1回防災訓練の振り返りについて ・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について ・防災備品及び非常食について
H31/ 1/18	・第1回防災訓練の振り返りについて ・第2回防災訓練について ・エアーストレッチャー講習会について
H31/ 3/ 8	・第2回防災訓練の振り返りについて ・エアーストレッチャーの点検・整備について ・次年度の委員会開催予定について

3) 主な活動内容

・第1回防災訓練（10月19日（金）14時～）

震度6弱の地震が発生。負傷者多数あり。トリアージセンターを開設し、負傷者の救出と応急処置を行う。厨房から出火したため初期消火と入院患者の避難誘導を行った。（模擬勤務者延べ59名、模擬患者14名）

訓練後、中棟2階廊下の屋内消火栓から屋外へ向けての放水訓練を実施した。参加者15名。



・エアーストレッチャー講習会（2月13日（水））

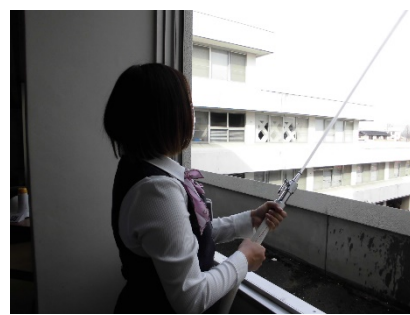
日本エアーストレッチャー㈱から講師（1名）を招き、エアーストレッチャーの基本操作を学んだ。参加者17名。



・第2回防災訓練（2月22日（金）14時～）

夜間の火災を想定。3Aリネン庫から出火。消火器で初期消火するも鎮火しないため、エアーストレッチャー等を使用して、入院患者を1階喫茶前のエントランスホールまで避難させた。（模擬勤務者21名、模擬患者20名）

訓練後、中棟2階廊下の屋内消火栓から屋外へ向けての放水訓練を実施した。参加者6名。



5.2.14 広報委員会

1) 委員会目的

広報活動の推進と運営を行うことを目的として、不定期に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H30/ 5/31	・医療センターだより 69号について (今号から、4ページ→6ページ3つ折版に変更) ・平成30年度 市民公開講座について
H30/ 8/24	・医療センターだより 70号について ・市民公開講座実施報告について
H30/10/24	・医療センターだより 71号について
H31/ 3/15	・医療センターだより 72号について ・平成30年度 医療センターだより実績報告及び31年度発行予定について ・平成31年度 市民公開講座について

3) 主な活動内容

- ・年4回（5・7・10・1月）の医療センターだよりの発行。
- ・各種パンフレット（病院案内、回復期リハ病棟案内、療養病棟案内）の内容の見直しと発行。
- ・ホームページの更新。



Vol. 68

豊田地域医療センターと「地域医療」

- ・お役立ち情報「地域包括ケア病棟」
- ・新任医師の紹介
- ・卒業式・入学式の報告



Vol. 70

- ・診療医師の紹介「太田喜久夫」
- ・訪問診療とは
- ・新任医師・新人職員のご紹介
- ・健康教室のご案内
- ・学生募集・オープンキャンパスの報告
- ・栄養科からの情報
- ・再整備情報



Vol. 69

豊田地域看護専門学校

- ・お役立ち情報「総合診療について」
- ・新規オプション検査「View アレルギー39」
- ・新人職員の紹介
- ・介護者のつどい
- ・市民公開講座のご案内
- ・栄養科からの情報
- ・再整備情報



Vol. 71

- ・新年のご挨拶
- ・お役立ち情報「ウェルウォーク」
- ・訪問リハビリテーション
- ・第1回健康教室の報告
- ・新任医師・新人職員のご紹介
- ・戴灯式の報告
- ・栄養科からの情報
- ・再整備情報

5.2.15 衛生委員会

1) 委員会目的

職員の健康保持及び職場環境の改善を目的として、毎月第3木曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H30/ 4/19	・平成30年度衛生委員会の委員について ・衛生委員会の付議事項について ・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について ・職員の健康管理（健康診断等）の年間スケジュールについて
H30/ 5/17	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について
H30/ 6/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・健康診断の結果について ・労働災害の発生について ・その他 ①臨床検査科の特定化学物質作業主任者からの報告
H30/ 7/19	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働・通勤災害の発生について
H30/ 8/16	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・定期健康診断の実施について ・労働・通勤災害の発生について
H30/ 9/20	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・インフルエンザワクチンの接種について ・労働災害の発生について ・メンタルヘルス不調者に対する対応マニュアルの変更について
H30/ 10/18	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・ストレスチェックの実施について ・作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について ・その他 ①特定化学物質作業主任者からの報告—ジメチルアミンについて ②労働基準監督署による現地調査（病理検査室） 10月25日(木)14:00～

H30/ 11/15	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・健康保険加入者の生活習慣病予防健診の実施について ・長時間労働による健康障害の防止文書の配布について ・その他 ①労働基準監督署による現地調査（病理検査室・10月25(木)実施）の指摘事項について ②衛生委員会が開催する研修会の内容について
H30/ 12/20	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・職員定期健康診断の結果について ・衛生委員会が開催する研修会の内容について ・その他 ①インフルエンザワクチンの接種について
H31/ 1/17	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・職員定期健康診断の実施について ・特殊健康診断の実施について ・V D T 健康診断の実施について ・衛生委員会が開催する研修会の内容について ・こころの健康づくりニュースレターの配布について
H31/ 2/21	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・メンタルヘルス研修会について ・衛生委員会が開催する研修会について ・豊田労働基準監督署への改善報告書の提出について
H31/ 3/28	・産業医、衛生管理者の職場巡視結果について ・労働災害の発生について ・作業環境測定（ホルムアルデヒド、キシレン、メタノール）の結果について ・メンタルヘルス不調者に対する対応マニュアルの変更について ・平成31年度の委員の選任について ・メンタルヘルス研修会開催報告 ・物品納入業者に対する安全データシート(SDS)の提出を依頼する文書の配布について

3) 主な活動内容

- ・産業医による職場巡視を月1回、衛生管理者による職場巡視を週1回実施
- ・職場環境改善の検討
- ・職員健康診断に関する報告・検討
- ・ストレスチェックに関する検討
- ・労働災害に関する報告・検討
- ・メンタルヘルス研修会の開催（平成31年3月7日（木）開催・53名参加）
- ・長時間労働による健康障害の防止対策

5.2.16 I T 委員会

1) 委員会目的

診療情報とセンター全体の I T に関する計画・運用・管理を目的として、奇数月第 1 木曜日に開催する。

2) 会議内容

開催日	会議内容
H30/ 4/20	・ 委員会の開催について ・ 電子カルテ等の運用について ・ グループウェアの更新について ・ 事務用パソコン等の更新について
H30/ 7/ 5	・ 電子カルテ等の運用について ・ USB メモリの使用について ・ 情報セキュリティ関係の棚卸し実施について ・ 研修会、セミナーについて
H30/ 9/ 6	・ 電子カルテ等の運用について ・ 平成 31 年度医療機器等購入計画に伴う情報システム更新について ・ 研修会、セミナーについて
H30/11/ 1	・ 電子カルテ等の運用について ・ グループウェアの運用について ・ 健診システムの更新作業について ・ 情報セキュリティ対策について ・ 研修会、セミナーについて
H30/12/ 6	【臨時開催】 ・ 電子カルテ等の運用について ・ 平成 31 年度予算について
H31/ 1/31	・ 電子カルテ等の運用について ・ グループウェアの運用について ・ 健診システムの更新作業について ・ 平成 31 年度予算について
H31/ 3/ 7	・ 電子カルテ等の運用について ・ グループウェアの運用について ・ 健診システムの更新作業について ・ 平成 31 年度予算について

6 講演、学会、研究会等の発表

【市民公開講座】

- ・ 豊田加茂医師会館 2階講堂（平成30年8月18日）
 - ・ 演題：「地域支援に活かすりハビリテーションの力」
 - ・ 講師：藤田保健衛生大学医学部ロボット技術活用地域リハビリ医学寄附講座
教授 太田喜久夫 先生
- 【出席133名】

【学会発表・講演等】

区 分	発表者	テーマ 発表先 発表日
学会発表	大杉泰弘	終末期医療における栄養管理に対する医師のアタマの中 第24回豊田加茂在宅医療学会 平成30年6月2日
学会発表	河邊 拓	口腔内所見を契機に HIV 感染症と診断された一例 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 平成30年6月16日、17日
学会発表	高岡大介	腹膜刺激症状が短時間で消失した一例 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 平成30年6月16日、17日
学会発表	石黒謙一郎	PDCA サイクルを用いた豊田マラソン大会救護班の質の改善のプロセス 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 平成30年6月16日、17日
学会発表	大杉泰弘	総合診療医の中小病院における在宅医療への関与 Community Hospital Japan プロジェクト 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 平成30年6月16日、17日
学会発表	今井泰	Cowden 病の1例 第9回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 平成30年6月16日、17日
学会発表	石黒謙一郎	PDCA サイクルを用いた豊田マラソン大会救護班の質の改善のプロセス 第27回豊田加茂医学会 平成30年7月7日
発表	大杉泰弘	在支病のベストプラクティス～コミュニティホスピタルの再定義～ 国際モダンホスピタルショウ 平成30年7月13日
研修会発表	浅井幹一	認知症について 旭地区脳いきいき講座 平成30年8月18日
研修会発表	大杉泰弘	在宅医療の導入と医療保険制度 在宅医療のスキルアップ研修 平成30年8月29日
学会発表	寺澤佳洋	Why was our program able to gather the large number of new senior residents in Japan World Organization of Family Doctors 平成30年10月20日、21日
学会発表	近藤敬太	Residents Perspectives from a UK-Japan Primary Care Exchange Programme World Organization of Family Doctors 平成30年10月20日、21日

研修会発表	大杉泰弘	在宅緩和ケアの実際 在宅医療のスキルアップ研修 平成 30 年 12 月 19 日
研修会発表	寺澤佳洋	戦う！研修医のためのプライマリ・ケア道場 ～外伝～ 岐阜市民病院 平成 30 年 11 月 8 日
学会発表	大杉泰弘	Malignancies Development after PMR and GCA Prospensity score matched cohort study GSA2018 ANNUAL SCIENTIFIC MEETING 平成 30 年 11 月 13 日～18 日
学会発表	木村美由紀	内科医だって認知行動療法（C B T）でメンタルすっきり解決！ ACP（米国内科学会）日本支部年次総会 2018 平成 30 年 6 月 2 日、3 日
学会発表	亀井里美	病棟看護師の退院指導における課題－訪問看護師との退院後カン ファレンスから－ 平成 30 年度愛知県看護研究学会 平成 30 年 12 月 12 日
学会発表	柴田和宏、加藤久勝	肺がん C T 検診での受診者被ばくに与える影響について 第 26 回日本 C T 検診学会学術集会 平成 31 年 2 月 7 日～9 日
研修会発表	永田紘丈	リハビリ講義・実技 あすなろ友の会 平成 30 年 6 月 15 日
研修会発表	永田紘丈	自分を感じよう 第 1 回脊髄小脳変性症患者家族のつどい 平成 30 年 6 月 26 日
研修会発表	杉浦さゆり	訪問栄養指導への取り組み 豊田市保健所管内栄養士連絡会 平成 31 年 2 月 27 日
学会発表	鈴木重良	「多職種・ネットワーク・チーム力」で充実を図る豊田市の在宅医 療 第 20 回日本在宅医学会大会 平成 30 年 4 月 29 日、30 日
学会発表	樋田久子	質の高い在宅医療を提供するには「動画による技術確認」 第 9 回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 平成 30 年 6 月 17 日、18 日
学会発表	小畑貴之	当センターにおける腫瘍マーカー検査追加希望者の傾向－オプシ ョン導入後 2 年間の比較－ 第 59 回日本人間ドック学会学術大会 平成 30 年 8 月 30 日、31 日

7 研修状況

7.1 研修会

所属	院外研修	院内研修	発表
共通・病院全体	3	1	
理事長	5	0	
院長	0	0	
副院長	2	0	
診療部	33	3	7
看護部	50	87	1
薬剤部	20	17	
診療放射線科	9	1	2
臨床検査科	19	19	
リハビリテーション科	47	42	2
栄養科	8	9	1
地域医療連携室	23	0	
事務部	8	0	
総務課	13	3	
管理課	4	3	
医事課	4	0	
在宅医療支援センター	0	0	
在宅支援課	96	0	4
訪問看護科	10	1	
健診センター	6	0	
健診事業課	9	2	1
健診看護科	0	3	
保健指導課	7	0	
医療安全推進室	14	13	
教務科	16	0	
事務課	1	0	
事務局	5	0	
院内感染対策委員会・ICT委員会	15	22	
医療安全管理委員会	0	4	
診療報酬委員会	0	0	
NST委員会	0	1	
臨床検査適正化・輸血療法委員会	0	1	
災害対策委員会	0	1	
衛生委員会	0	1	
倫理委員会	0	0	
サービス向上委員会	0	1	
IT委員会	2	0	
セーフティマネジメント部会	0	36	
計	429	271	18

8 実習状況

8.1 学生実習

学校名	実習生人数	実習期間	担当
愛知県看護協会	2名	H31/1/15～H31/2/15	訪問看護
愛知県看護協会（高校生体験）	6名	H30/8/1	看護部
愛知県立総合看護専門学校	2名	H30/9/3～H30/9/14	訪問看護
	3名	H30/10/9～H30/10/19	訪問看護
	2名	H31/2/25～H31/3/8	訪問看護
国際医学技術専門学校	1名	H31/3/4～H31/3/16	理学療法
作業療法士会（高校生見学）	2名	H31/8/20～H31/8/24	作業療法
中部リハビリテーション専門学校	1名	H30/7/23～H30/9/7	理学療法
東海学園大学	2名	H30. 11. 26～H30. 12. 7	栄養科
東北福祉大学	1名	H30/5/14～H30/7/6	理学療法
	2名	H31/2/18～H31/2/22	理学療法
	2名	H31/2/25～H31/3/1	理学療法
	2名	H31/3/4～H31/3/8	理学療法
日本赤十字豊田看護大学	2名	H30/5/15～H30/5/24	訪問看護
	2名	H30/6/5～H30/6/8	訪問看護
	2名	H30/6/11～H30/6/14	訪問看護
	2名	H30/6/26～H30/7/5	訪問看護
	3名	H30/10/2～H30/10/11	訪問看護
日本福祉大学	1名	H30/10/29～H30/12/8	作業療法
	1名	H31/1/21～H31/1/27	理学療法士
	1名	H31/. 2/11～H31/2/16	作業療法
	1名	H31/. 2/18～H31/2/23	作業療法
東名古屋病院附属リハビリテーション学院	1名	H30/7/23～H30/8/31	作業療法
	1名	H30/9/18～H30/10/26	理学療法
	1名	H31/1/28～H31/2/22	理学療法
	1名	H31/1/28～H31/2/1	作業療法
	1名	H31/2/4～H31/2/8	作業療法
愛知医療学院短期大学	1名	H31/2/18～H31/2/22	作業療法
藤田保健衛生大学	1名	H30/8/13～H30/8/25	医事課
星城大学	1名	H30/6/11～H30/8/4	作業療法
東海医療科学専門学校	1名	H31/2/6	作業療法

8.2 職場体験学習

主に豊田市内の中学生を対象に、愛知県教育委員会が推進する『あいち・出会いと体験の道場』に基づいて行う職場体験学習を通して、働くことの意義、責任感、あいさつ、言葉づかいの大切さなどを学ぶ機会を提供する。また、豊田市における医療センターの役割について知ってもらう。

学 校 名	日 程	参 加 人 数
猿投中学校	H30/5/30-31	2 名
猿投台中学校	H30/6/13-14	1 名
美里中学校	H30/6/13-14	1 名
崇化館中学校	H30/6/14-15	1 名
梅坪台中学校	H30/6/19-20	1 名
井郷中学校	H30/6/20-21	1 名
朝日丘中学校	H30/10/17-18	2 名
豊南中学校	H30/11/7-8	2 名
藤岡南中学校	H30/11/29-30	2 名
9 校		13 名

9.1 連携地域医療学寄附講座

連携地域医療学寄附講座は平成24年4月に設立されてから、約7年が経過し豊田地域医療センターを中心に活動してきた成果が徐々に形になってきている。教員数は16名を数え若手医師が大半を占める“若い”教室であり、構成員が藤田医科大学の教員である一方、平成30年4月に始まった総合診療専門医制度の専攻医、指導医として研鑽の日々を送っている。3年間のプログラムの重要な部分は、藤田医科大学病院と豊田地域医療センターがベースキャンプの役割を果たすことで機能し、その他のバラエティに富む連携医療機関でのローテーションプログラムと相俟って研修の実をあげている。

<教育・診療・研究内容>

- 1) 地域医療に携わる総合診療医の養成
- 2) 市民、コミュニティ、豊田市、豊田加茂医師会、地域医療機関および介護福祉施設と連携した、地域包括システムの実践と研究
- 3) 豊田地域医療センターやへき地医療機関での研修を通じた地域医療初期研修
- 4) 医学部臨床実習、地域枠学生の夏休み実習などを通じた医学部の学生教育
- 5) 在宅医療や健診・人間ドック、介護保険施設を含む地域医療連携における臨床疫学的研究—特に地域特性—
があげられる。

<地域活動>

地域活動としては、総合診療専門医養成のプログラムの上で、地域貢献が必修としてあげられているので、各構成員がそれぞれ自らのテーマで地域貢献ができるよう活動することを求めている。

現在、豊田市全体にかかる会議として、豊田市 在宅医療・介護連携推進事業検討委員会、豊田市医療対策懇話会に委員を出しており、在宅医療そして広く地域医療全般にかかわる問題についての会議に参画している。また、教育研修企画として、豊田市在宅医療シンポジウム、豊田市在宅医療多職種研修会を豊田市と共催で6年にわたり開催し毎年60～130名の参加者を得ている。

豊田市の梅坪地区を中心に行っている活動としては、地域医療センターに併設された地域包括支援センターの主催による、認知症カフェを4月から開催している。一般市民の地域に住む年配の方、認知症の患者さんとその家族の方を中心に10～15名の参加を得ている。また、同じく地域包括支援センター主催の民生委員の方やケアマネージャー対象の研修会を昨年からは開始し、認知症家族を支えるための寸劇と専門家の講演をまじえて好評を得ている。この会は8月に開催し、地域枠学生の夏休み実習の1つにもなっている。介護保険関連の活動としては、介護認定審査会の委員を1名選出して要介護・支援認定の審議に参加している。

連携地域医療学講座としては、総合診療専門医の養成を通じて新たな家庭医療、総合診療の将来像を求めていくことが望まれる。大学の講座としては、教育・診療・研究を通じて社会貢献を果たすことが必要である。その一方、「地域医療学」講座として地域貢献をしていくことは設立の趣旨でもあるが、まだ教室全体として組織的な活動にまでは成長していない。また、「連携」も講座の名称を構成しているキーワードであり、今までの地域活動も、豊田市を中心とする「地域包括ケア」、豊

田市、医師会を中心とする在宅医療推進活動など他の機関と連携して行うものが多かった。しかしながら、今後は豊田地域医療センターの立地する豊田市梅坪地区をターゲットとした「地域密着型」の地域貢献を独自に考えていくべきであり、そのために地域ニーズと取り組んでいくことが豊田地域医療センターの寄附講座としての役割でもあると思われる。

9.2 ロボット技術を活用した地域リハビリテーション医学の

展開に関する寄附講座

はじめに

2018 年度 4 月に藤田医科大学、トヨタ自動車株式会社、豊田市と締結された藤田医科大学医学部 ロボット技術を活用した地域リハビリテーション医学の展開に関する寄附講座（略称 ロボット技術活用地域リハビリ医学）が開始され、2018 年 8 月 1 日に太田喜久夫が寄附講座教授として豊田地域医療センターリハビリテーション科に着任した。詳細はホームページを参照してください。

本稿では、着任後の臨床実績、研究活動、社会活動について概説する。

1. 臨床実績

- 1) 外来診療の開始 毎週火曜日リハビリテーション科専門外来を開設した。
 - ・外来リハビリテーションの処方 8 件
 - ・短下肢装具の処方 3 件
 - ・ボツリヌス毒素治療（上下肢痙縮） 5 件
 - ・FES（機能的電気刺激）治療 4 件 内 1 件 WakAide 処方
- 2) 病棟回診によるリハビリテーション治療・訓練指導
 - ・回復期病棟 毎週月曜日
 - ・一般病棟・地域包括ケア病棟 毎週火曜日
- 3) 摂食嚥下障害に対する包括的ケアシステムの構築
 - ・嚥下造影検査（VF）・嚥下内視鏡検査（VE）の実施 VF12 件、VE4 件
隔週木曜日に ST とリハ科医師で VF/VE 画像供覧してのカンファレンス実施。
 - ・嚥下サポートチーム（NST の下部組織）の結成
構成メンバー：認定嚥下看護師・ST・リハ科医師 毎月 1 回開催
内容：嚥下機能検査法の手順の確立、評価法の統一、誤嚥性肺炎発症の頻度、嚥下調整食の検討などを実施した。

2. 研究活動

- 1) ロボット技術活用地域リハビリ医学としての研究活動
 - i) 豊田地域医療センターでのロボットリハビリテーション
 - ・ウエルウオーク WW-1000
2018 年 10 月から導入した。入院患者では 5 名。外来患者では 3 名に視覚フィードバックを用いた FES 併用トレッドミル歩行練習として実施した。
 - ・バランス練習支援ロボット：BEAR が 3 月にリハ評価室に設置された。
 - ii) リハビリテーション医療および介護現場でのロボット技術の実施状況の実態調査
 - iii) 豊田地域医療センターにおける看護必要度 B 項目を用いた ADL 変化の調査
- 2) 文科省科学研究費にもとづく嚥下リハビリテーションの研究活動
 - i) 基盤研究（C）；課題番号 18K10789 研究課題名 t-DCS と干渉波治療を用いた

ハイブリッド嚥下リハビリテーション法の確立 平成 30 年度～令和 2 年度
・臨床で嚥下障害患者の干渉波による上喉頭神経刺激治療(ジェントルスティム)
を開始した。

3. 社会・啓発活動

社会活動

- 1) 太田喜久夫；日本栄養材形状機能研究会 摂食・嚥下ワーキンググループ委員
- 2) 太田喜久夫；茨城認定看護師嚥下研修会 講師 リハビリテーション医学担当
- 3) 太田喜久夫；愛知認定看護師嚥下研修会 講師 脳と神経のしくみ担当
- 4) 太田喜久夫；日本リハビリテーション医学会関連専門職委員会委員長
- 5) 太田喜久夫；厚生労働省科学研究費補助金「高次脳機能障害者の社会参加支援の推進に関する研究」平成 30 年度東海ブロック連絡協議会 委員（学識経験者）
- 6) 太田喜久夫；平成 30 年度三重県高次脳機能障がい及びその関連障がいに対する支援普及事業相談支援体制連携調整委員会 委員（学識経験者）
- 7) 太田喜久夫；JJCRS：Japanese Journal of Comprehensive Rehabilitation Science 査読委員
- 8) 太田喜久夫；JJRM：The Japanese Journal of Rehabilitation Medicine 査読委員
- 9) 太田喜久夫；総合リハビリテーション 編集同人
- 10) 太田喜久夫；藤田保健衛生大学医療科学部保健学研究科客員教授 摂食嚥下課程特論講義「摂食嚥下リハビリテーション医学研究論概説」
- 11) 太田喜久夫；平成 30 年度第 43 回理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設等教員講習会事業に係わる運営委員会 委員

研究発表

講演

- 1) 市民講座 「地域支援に活かすリハビリテーションの力ー健康増進からロボットリハビリテーションの活用まで」 2018 年 8 月 18 日 豊田加茂医師会館／リハビリテーション科 太田喜久夫
- 2) 豊田加茂地域医師会介護保険懇話会講演会 「豊田地域医療センターにおけるロボットリハビリテーションの試み」 2019 年 3 月 2 日 豊田加茂医師会館／リハビリテーション科 太田喜久夫
- 3) 日本脳外傷友の会 第 18 回全国大会 2018 特別講演 「高次脳機能障害 医療機関の役割」 2018 年 10 月 20 日 四日市市文化会館／リハビリテーション科 太田喜久夫
- 4) 平成 30 年三重県身体障害者総合福祉センター研修会講演 「高次脳機能障害の基礎理解と対応方法」 2018 年 11 月 15 日 三重県身体障害者総合福祉センター大会議室／リハビリテーション科 太田喜久夫

学会発表

- 1) 第 24 回日本摂食・嚥下リハビリテーション学会学術大会「VF 画像による食道への空気輸送所見と PAS との関連について」 2018 年 9 月 8 日 仙台南国際会議場／リハビリテーション科 太田喜久夫
- 2) 第 34 回日本義肢装具学会学術大会「脳卒中片麻痺患者に対する随意的手指伸展支

援型低周波刺激装置を用いた手指機能回復訓練の試み」2018年11月10日 名古屋国際会議場／リハビリテーション科太田喜久夫

- 3) 第44回日本リハビリテーション医学会中部・東海地方会「2019年2月9日「看護必要度B項目を用いた高齢入院患者の動態調査」名古屋市今池ガスビル／リハビリテーション科 太田喜久夫
- 4) 第20回日本リハビリテーション連携科学学会 シンポジウム;緩和ケアから在宅へ繋げるための連携～それぞれの立場からの連携～ 座長;基調報告と総括 /リハビリテーション科 太田喜久夫